OLYMPUS®

デジタルカメラ

μ-mini DIGITAL S

取扱説明書

応用編

カメラを使いこなすための
すべての機能について説明しています。

カメラの基本操作

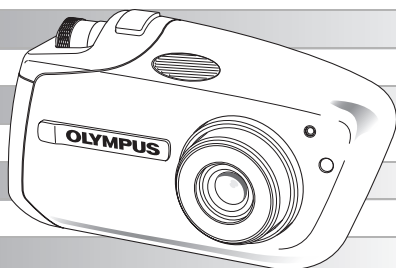
基本的な撮影

高度な撮影

いろいろな再生

プリント

パソコンでの活用

カメラの設定

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

取扱説明書の使い方

●表記について

本書の各機能説明ページの表記について説明します。撮影・再生を始める前にご確認ください。ボタン・メニューの操作方法の詳細については、各参照ページをご覧ください。

モードダイヤルをここに示されているいずれかのマークに設定します。☞「モードダイヤル」(P.10)

モニタ調整

液晶モニタの明るさを見やすいように調整します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［モニタ調整］
☞「メニュー」(P.12)

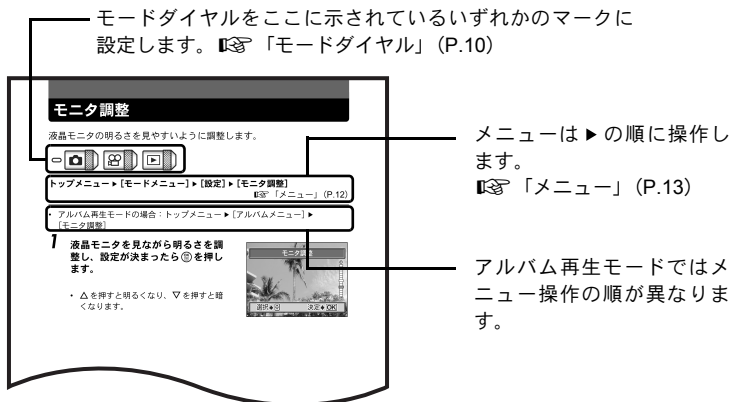
• アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［モニタ調整］

1 **液晶モニタを見ながら明るさを調整し、設定が決まったら㊉を押します。**

• △を押すと明るくなり、▽を押すと暗くなります。

モニタ調整
選択◆ 決定◆OK

メニューは ▶ の順に操作します。
☞「メニュー」(P.13)

アルバム再生モードではメニュー操作の順が異なります。

このページは説明のためのサンプルです。実際のページとは異なる場合があります。

ご注意

故障やトラブルになるような、重要な注意事項が書かれています。絶対に避けていただきたい操作も書かれています。

ヒント

活用するために、知っておくと便利なことや役に立つ情報などが書かれています。

☞

本書での参照先のページを書いています。

●「基本編」と「応用編」について

このカメラの取扱説明書は、基本編と応用編（本書）の2冊で構成されています。

基本編　まず、カメラを手に取って使ってみましょう。撮影して再生するまでを簡単に説明しています。

応用編　カメラの使い方に慣れたら、カメラの他の機能も使ってみましょう。もっときれいに、もっと楽しく撮れるように多くの機能が用意されています。

取扱説明書の構成

各章の扉ページには、それぞれの章に関連したコラムを記載しています。ぜひご覧ください。

もくじ

5 いろいろな撮影機能 - 47

6 再生 - 57

7 設定 - 85

8 プリントする - 97

9 パソコン接続 - 113

10 付録 - 129

11 資料 - 145

カメラの基本操作

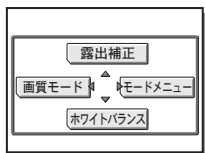
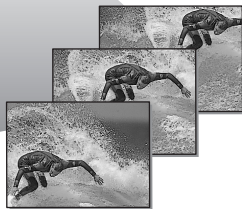
1

高度な撮影や編集はプロカメラマンだけの技術だと思っていませんか？
彼らは長年の経験とプロならではの技を活かし、多様で微妙な調整をしながら撮影します。
デジタルカメラを使うあなたはボタンを操作するだけ。メニューを設定すれば、取り込む光の量を調節する、ピント合わせの範囲を変えるなど、高度な機能を簡単に使いこなすことができます。
メニューの設定は、液晶モニタを見ながらボタン操作で行います。各機能の説明を読む前に、まずはボタンとメニューの操作方法をマスターしましょう。

露出補正
画質モード
モードメニュー
ホワイトバランス

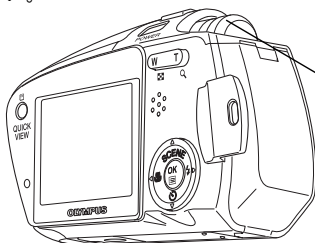
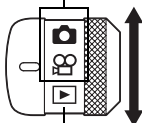
撮影
カ
設
測　光
ドライブ
ISO感度
デジタルズーム
AF方式
オート
64
100
200
400

SCENE
OK

00:36

ムービー

連 写

モードダイヤル

このカメラには撮影モードと再生モードがあります。モードはモードダイヤルを使って設定します。目的のモードを選んで電源を入れてください。

撮影モード
撮影するときに設定します。

再生モード
撮影した画像を再生するときに設定します。

●モードダイヤルの種類

撮影モード	📷	静止画を撮影します。
	🎥	ムービーを撮影します。 ☞P.48
再生モード	▶	静止画またはムービーを再生します。アルバムに登録した画像や音声も再生できます。 ☞P.58、62

? ヒント

- モードの変更はカメラの電源が入っている状態でも行えます。

モードダイヤルの表記

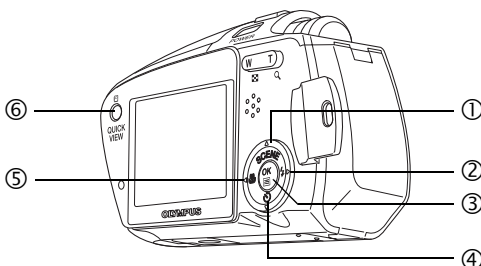
本書では、各機能の操作にあたってモードダイヤルを特定のマークに合わせる必要がある場合、以下のアイコンで示します。

モードダイヤルを🎥の位置に合わせた状態で操作することを示します。

モードダイヤルを📷または🎥に合わせた状態で操作することを示します。

ダイレクトボタン

ダイレクトボタンを押すだけで簡単に操作することができます。

①
②
③
④
⑤
⑥
QUICK VIEW
SCENE
OK
OLYMPUS
POWER

①	△SCENE（シーン）ボタン

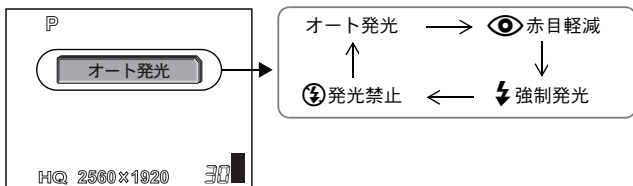
△SCENE を押すと、カメラ内蔵の撮影シーンから撮影状況に合わせた設定を選択することができます。☞「撮影シーンに合わせた撮影」（P.28）

1 P オート
選択 決定 OK

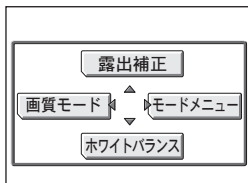
②	▷⚡（フラッシュモード）ボタン

モードで繰り返し▷⚡を押して設定します。ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。☞「フラッシュ撮影」（P.36）

P
オート発光
HQ 2560×1920 30

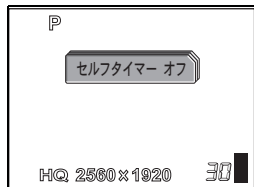
オート発光 → 赤目軽減 → 強制発光 → 発光禁止 → オート発光

③	㊢ボタン

㊢を押すと、トップメニューが表示されます。☞「メニュー」（P.13）

露出補正
画質モード　モードメニュー
ホワイトバランス

④	▽🕙（セルフタイマー）ボタン

撮影モードで繰り返し▽🕙を押して設定します。［セルフタイマー オン］［セルフタイマー オフ］を切り換えます。
☞「セルフタイマー撮影」（P.51）

P
セルフタイマー オン
HQ 2560×1920 30

P
セルフタイマー オフ
HQ 2560×1920 30

⑤	◁🌷（マクロ）ボタン

撮影モードで繰り返し◁🌷を押して設定します。
［🌷マクロ］［S🌷スーパーマクロ］［マクロオフ］を切り換えます。
☞「小さなものを接近して撮る（マクロ／スーパーマクロ）」（P.34）

P
🌷マクロ
HQ 2560×1920 30

P
S🌷スーパーマクロ
HQ 2560×1920 30

⑥	QUICK VIEWボタン／ (アルバム再生) ボタン
	撮影モードで**QUICK VIEW**ボタンを押すと、最後に撮影した画像が液晶モニタに表示されます。通常の再生モードと同様の各機能を使うことができます。☞「再生」(P.57) もう一度**QUICK VIEW**ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると撮影モードにすぐ戻り、撮影準備ができます。 再生モードで ボタンを押すと、アルバム再生モードに切り換わり、液晶モニタにアルバム選択画面が表示されます。☞「アルバムの再生」(P.63) もう一度 ボタンを押すと、通常の再生モードに戻ります。

メニュー

を押すと液晶モニタにメニューが表示されます。

メニューの種類

使用できるメニュー項目はカメラのモードによって異なります。

トップメニュー

ショートカットメニューとモードメニューで構成されています。

露出補正
画質モード
モードメニュー
ホワイトバランス

ショートカットメニュー

直接各項目の設定画面に進みます。

モードメニュー

設定項目が機能ごとにタブで分類されています。

ショートカットメニュー

静止画撮影時／ムービー撮影時

露出補正 ☞P.43
画質モード ☞P.23
モードメニュー
ホワイトバランス ☞P.44

静止画再生時

スライドショー ☞P.60
アルバム登録 ☞P.64
モードメニュー
1コマ消去 ☞P.83

ムービー再生時

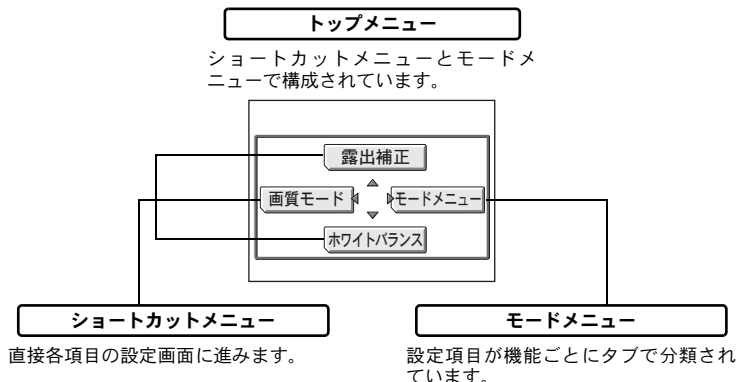
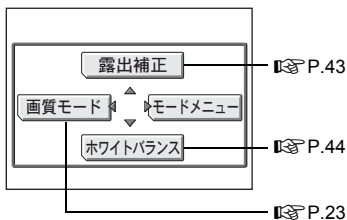
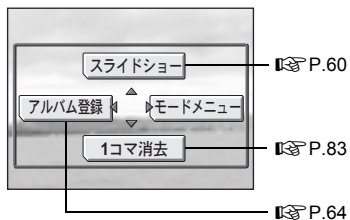
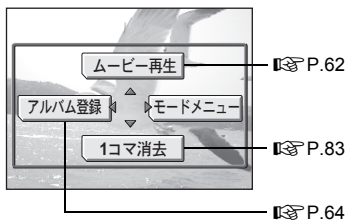
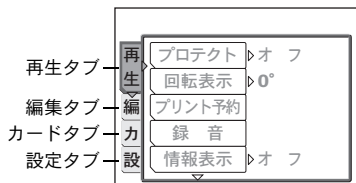
ムービー再生 ☞P.62
アルバム登録 ☞P.64
モードメニュー
1コマ消去 ☞P.83

モードメニュー

撮影タブ　カードタブ　設定タブ

測　光 ▷ESP
ドライブ ▷単写
ISO感度 ▷オート
デジタルズーム ▷オ　フ
AF方式 ▷スポット

再生タブ　編集タブ　カードタブ　設定タブ

プロテクト ▷オ　フ
回転表示 ▷0°
プリント予約
録　音
情報表示 ▷オ　フ

撮影タブ	撮影に関する設定をします。
カードタブ	カードをフォーマットします。
設定タブ	カメラの基本的な設定や使いやすくするための設定を行います。

再生タブ	再生に関する設定をします。
編集タブ	撮影した画像を編集します。
カードタブ	カードのフォーマットや全コマ消去をします。
設定タブ	カメラの基本的な設定や使いやすくするための設定を行います。

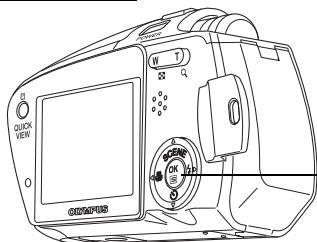
ヒント

- モードでは、撮影モード／再生モードともモードメニューの内容が異なります。詳細については「メニュー一覧」（P.146）を参照してください。
- 撮影モード／再生モードのモードメニューの各項目については「メニュー一覧」（P.146）を参照してください。

メニューの操作方法

メニューは十字ボタンと㊗を使って設定します。
メニュー画面に使用する十字ボタンや操作ガイドが表示されますので、それにしたがって選択、設定します。ここでは、メニュー画面とその操作について説明します。

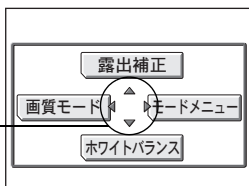
例：シャッター音を設定する場合

△▽◁▷ボタン
㊗ボタン

1 モードで㊗を押します。

- トップメニューが表示されます。

2 ▷を押して［モードメニュー］を選択します。

トップメニュー

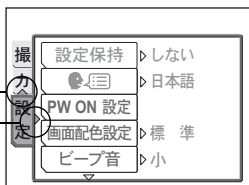
露出補正
画質モード
モードメニュー
ホワイトバランス

十字ボタン（△▽◁▷）を表しています。

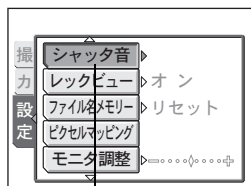
3 △▽ を押して［設定］タブを選択し、▷を押します。

- 画面に表示された十字ボタンにしたがって選択・設定します。

撮
カ
設定

設定保持	しない
	日本語
PW ON 設定	
画面配色設定	標　準
ビープ音	小

十字ボタン（△▷）を表しています。

4 △▽ を押して［シャッタ音］を選択し、▷を押します。

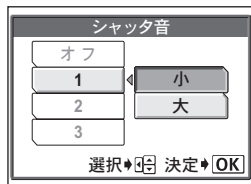
- 画面に表示された十字ボタンにしたがって選択・設定します。
- 設定できない項目は選択できません。

選択した項目は凹んで見えます。

5 △▽を押して［オフ］［1］［2］［3］からシャッター音を選択し、▷を押します。

- 画面下の操作ガイドにしたがって、十字ボタンを押して選択・設定します。

操作ガイド
◁を押して設定を中止します。
△▽を押して項目を選択します。
▷を押して設定項目を移動します。
Ⓞを押して設定内容を決定します。

6 △▽を押して［小］または［大］を選択し、Ⓞを押します。

- 画面下の操作ガイドにしたがって、十字ボタンを押して選択・設定します。
- メニューが閉じるまでⓄを押します。

ヒント

- 本書では上記の手順1～5までのメニュー操作を次のように表記しています。
トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［シャッタ音］▶［オフ］／［1］／［2］／［3］

撮影前に知って おきたいこと

2

P（プログラム）オートに設定してシャッターボタンを押すだけで、ほとんどの場合は上手く撮ることができます。でも、どうしても被写体にピントが合わない、被写体が暗く撮れてしまうなど、思い通りに撮れない・・・・ということはありませんか？
そんなとき、ちょっとした撮影のコツを活用したり、カメラの簡単な機能を使うだけで、問題が解消する場合もあります。
また、撮影後の画像の利用方法に合わせて画像サイズを選択して撮影すると、1 枚のカードにより多くの画像を記録することができます。これも“ちょっとしたコツ”のひとつです。

? ヒント

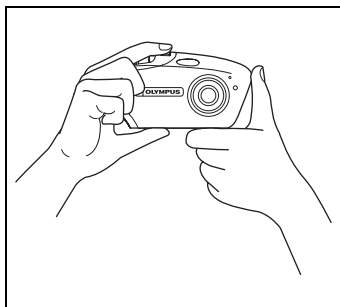
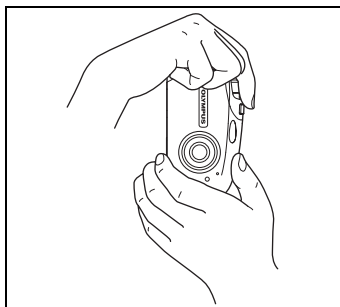
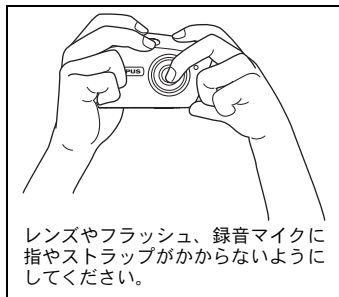
ホームページ用に
SQ2
SHQ
OLYMPUS
xD-Picture Card
プリント用に

カメラの正しい構え方

撮影した画像を見ると、被写体の輪郭がはっきりしないときがあります。このようなときはシャッターボタンを押し込んだ瞬間にカメラを持つ手がぶれたり、カメラが動いていることがあります。

被写体の輪郭がはっきりしない画像

このような失敗を防ぐために、カメラは脇を締めて両手でしっかり持ちましょう。カメラを縦位置で持つときは、フラッシュがレンズより上になるように持ちます。レンズとフラッシュに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。

横位置

縦位置

悪い例

レンズやフラッシュ、録音マイクに指やストラップがかからないようにしてください。

ピントが合わないとき

カメラは撮影する構図の中で、自動的にピントを合わせるべきものを検出します。被写体を検出する際、コントラストの強さも判断の基準になります。被写体のコントラストが周囲に比べて弱いときや、よりコントラストの強い部分が構図の中にあるときは、カメラは判断を誤る場合があります。その場合のもっとも簡単な対処法にフォーカスロックがあります。

ピント合わせの方法（フォーカスロック）

1 ピントを合わせたいものにAFターゲットマークを合わせます。

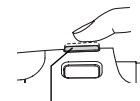
- ピントが合いにくいものや速く走るものの場合、まず撮影したいものとほぼ同じ距離のものにカメラを向けます。

P
HQ 2560×1920 30

AFターゲットマーク

2 シャッターボタンを緑ランプが点灯するまで押します（半押し）。

シャッターボタン

- ピントと露出が固定されると、緑ランプが点灯します。
- 緑ランプが点滅したときは、
  ① 被写体までの距離が近すぎます。
  50cm 以上離れて撮影してください。50cm 未満の距離で撮影するときは、マクロ撮影をしてください。☞「小さなものを接近して撮る（マクロ／スーパーマクロ）」（P.34）
  ② ピントと露出が固定されていません。シャッターボタンから指を離し、ピントを合わせる位置を少しずらしてもう一度シャッターボタンを半押ししてください。

3 **半押しの状態のまま撮影したい構図にします。**

緑ランプ

P

HQ 2560×1920 30

4 **シャッターボタンを押し込みます（全押し）。**

シャッターボタン

ヒント

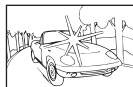
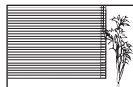
ピントを画面中央で合わせたい

☞「AF方式」（P.40）

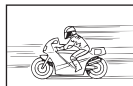
オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

緑ランプ点滅
このようなものにはピントが合いません。

コントラストがはっきりしない被写体

画面中央に極端に明るいものがある場合

縦線のないもの

緑ランプは点灯するが、写したいものにピントが合わない。

遠いものと近いものが混在する場合

動きの速いもの

ピントを合わせたいものが中央にない

いずれの場合も、被写体と同距離にあるコントラストのはっきりとしたものでピントを合わせた後、構図を決めて撮影してください。また、縦線のない被写体の場合は、カメラを縦位置に構えてピントを合わせた後、構図を横に戻して撮影しても効果的です。

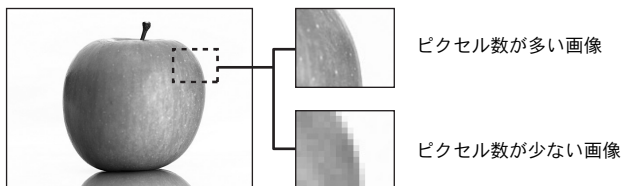
画質について

撮影する画像の画質を設定します。プリント用、パソコンでの加工用、ホームページ用など、用途に合わせて画質モードをお選びください。各画質モードでの画像サイズやカードへの撮影可能枚数・時間については、P.24の表をご覧ください。

静止画の画質モード

画質モードは、記録する画像のピクセル数と圧縮する度合いの組み合わせを表しています。
画像はピクセル（点）の集まりでできています。ピクセル数が少ない画像を拡大するとモザイク状に表示されます。ピクセル数が多い画像は1枚の画像のファイルサイズ（データの量）が大きくなり、カードに記録できる枚数が少なくなりますが、密度が高く精細になります。圧縮率が高いほどファイルサイズは小さくなりますが、画像を表示したときに粗く見えます。

ピクセル数が多い画像

ピクセル数が少ない画像

<table>
<tr><th>画質モード</th><th>画質</th><th colspan="2">画像サイズ</th><th>使用例</th></tr>
<tr><td>SHQ</td><td>きれい</td><td>2560 × 1920
（低圧縮）</td><td rowspan="7">大きい
↕
小さい</td><td>大きくプリントする。
パソコンで画像編集する。</td></tr>
<tr><td>HQ</td><td rowspan="6">ふつう</td><td>2560 × 1920
（以下標準圧縮）</td><td>ハガキサイズにプリントする。</td></tr>
<tr><td>SQ1</td><td>2048 × 1536</td><td>L版にプリントする。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">SQ2</td><td>1600 × 1200</td><td rowspan="4">Webに掲載する。
Eメールに添付する。</td></tr>
<tr><td>1280 × 960</td></tr>
<tr><td>1024 × 768</td></tr>
<tr><td>640 × 480</td></tr>
</table>

画像サイズ
画像をカードに記録する際の大きさ（横の画素数 × 縦の画素数）です。画像をプリントするときは、大きな画像サイズで記録しておくときれいにプリントされます。

圧縮
画像を圧縮して保存します。圧縮率が高いほど画質は粗くなります。

ムービーの画質モード

Motion-JPEG形式でムービーを記録します。

カードの撮影可能枚数・撮影可能時間

静止画の場合

画質モード	画像サイズ	圧縮	ファイル形式	カードの撮影可能枚数（枚）16MBカードの場合 音声あり	カードの撮影可能枚数（枚）16MBカードの場合 音声なし
SHQ	2560 × 1920	低圧縮	JPEG	4	4
HQ	2560 × 1920	標準圧縮	JPEG	12	13
SQ1	2048 × 1536	標準圧縮	JPEG	19	20
SQ2	1600 × 1200	標準圧縮	JPEG	23	24
SQ2	1280 × 960	標準圧縮	JPEG	35	38
SQ2	1024 × 768	標準圧縮	JPEG	52	58
SQ2	640 × 480	標準圧縮	JPEG	76	90

ムービーの場合

画質モード	画像サイズ	ファイル形式	撮影可能時間 16MBカードの場合 音声あり
HQ	320 × 240（15コマ／秒）	Motion-JPEG	41秒
SQ	160 × 120（15コマ／秒）	Motion-JPEG	1分45秒

撮影可能枚数

撮影可能時間

ヒント

- 撮影した画像をパソコン上で見る場合に表示される画像の大きさは、パソコンのモニタ設定によって異なります。たとえば、1024 × 768 ピクセルの画像サイズで撮影された画像は、パソコンのモニタ設定が1024 × 768のとき画像を等倍（100％）で表示すると、モニタ全体に表示されます。モニタ設定がそれ以上（1280 × 1024など）になると、モニタの一部にしか表示されません。

ご注意

- カードの撮影可能枚数・時間はおおよその目安です。
- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行っても枚数が変わらないことがあります。

画質モードを変更する

トップメニュー ▶［画質モード］ ☞「メニュー」（P.13）

1 画質モードを［SHQ］［HQ］［SQ1］［SQ2］から選択します。

画質モード
SHQ 2560 × 1920
HQ 2560 × 1920
SQ1 2048 × 1536
SQ2 640 × 480
選択 決定 OK

静止画の場合

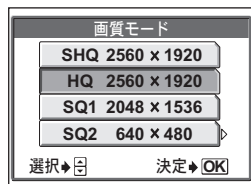
ムービーの場合は、画質モードを［HQ］［SQ］から選択します。

画質モード
HQ 320 × 240
SQ 160 × 120
選択 決定 OK

ムービーの場合

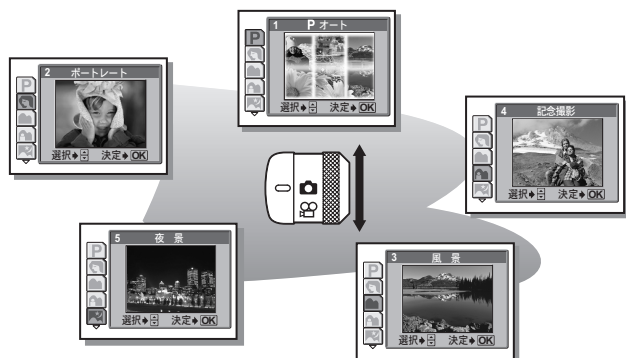
2 ［SQ2］を選択した場合は画像サイズを選択します。

SQ2設定
1600 × 1200
1280 × 960
1024 × 768
640 × 480
中止 選択 決定 OK

3 ㊐を押します。

基本的な撮影機能

3

カメラマンは被写体に合わせて、露出の調整やピントの合わせ方、フィルムの選択などを常に考慮した上でより最適な設定で撮影しています。
デジタルカメラで撮るあなたは難しい設定を覚える必要はありません。デジタルカメラには被写体にあわせた設定がすでに用意されています。風景、夜景、ポートレートなど、あなたが撮りたい！　と思うものに合わせた撮影シーンを選ぶだけで、最適な露出や色合いをカメラが設定してくれます。
さあ、あなたはシャッターボタンを押すだけです。

1 P オート
選択 決定 OK
2 ポートレート
選択 決定 OK
4 記念撮影
選択 決定 OK
5 夜 景
選択 決定 OK
3 風 景
選択 決定 OK

撮影シーンに合わせた撮影

撮影シーンや撮影状況に合わせて選択すると、カメラが自動的に撮影に適した条件を設定します。

● SCENEモードの種類

P P（プログラム）オート

シャッターボタンを押すだけで、カメラが最適と判断した状態で撮影ができます。

ポートレート

人物を撮影するのに最適です。背景をぼかし人物だけにピントが合うようにすることで、人物を背景から浮き出せる効果があります。

風景

風景を撮るのに最適です。近景から遠景までピントが合うように写します。また、青や緑の色をよりきれいに再現するので、自然のなかでの撮影には効果的です。

記念撮影

人物と風景をいっしょに撮るのに最適です。近くの被写体と背景の両方にピントを合わせるように撮ります。空・緑・人物をきれいに撮影します。

夜景

夜の景色を撮るのに最適です。通常の撮影よりも遅いシャッター速度で撮影します。P（プログラム）オートで街灯が輝く街の夜景を撮影すると、明るさが不足するので光っている点だけの画像になってしまいます。夜景撮影では、街の様子も写し出します。

? ヒント

- に設定すると、撮影時シャッター速度が遅くなります。手ぶれを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。

夜景＆人物

夜の景色と人物をいっしょに撮るのに最適です。

? ヒント

- に設定すると、撮影時シャッター速度が遅くなります。手ぶれを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。
- フラッシュは赤目軽減モードで発光します。☞「フラッシュ撮影」（P.36）

料理

料理や素材を新鮮に撮影することができます。彩度、シャープネス、コントラストを高めに設定し、被写体を鮮やかにくっきりと撮影します。

ビーチ＆スノー

海岸や雪山での撮影に最適です。白砂や雪が白く美しく撮影できます。

一人旅

旅先での撮影に最適です。セルフタイマーを使って自分と風景を撮影します。

ショーウィンドウ

ガラス越しの被写体に、ピントを合わせて撮るのに最適です。

ヒント

- フラッシュは使えません。

セルフポートレート

撮影者がカメラを持って、自分を撮るのに最適です。

ヒント

- ズームは広角（W側）の位置で固定され、変更できません。
- スポット測光は使えません。

パーティショット

屋内で人物と背景をいっしょに撮るのに最適です。
背景もきれいに再現されます。

ヒント

- 画質モードはSQ2の［1280 × 960］［1024 × 768］［640 × 480］のみ設定できます。

キャンドル

キャンドルライトを活かした画像を撮るのに最適です。温かみのある色が再現されます。

ヒント

- フラッシュは使えません。
- 画質モードはSQ2の［1280 × 960］［1024 × 768］［640 × 480］のみ設定できます。

夕日

夕景を撮るのに最適です。赤や黄色を鮮やかに再現します。

ヒント

- フラッシュは使えません。

打ち上げ花火

夜空に打ち上げられた花火を撮るのに最適です。

ヒント

- に設定すると、撮影時シャッター速度が遅くなります。手ぶれを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。

撮影シーンを選択する SCENE

1 △SCENEを押します。

- 撮影シーンを選ぶシーン選択画面が表示されます。

1 P オート
選択 決定 OK

2 ▽△を押して撮影シーンを選択し、OKを押します。

2 ポートレート
選択 決定 OK

- サンプル画像のあと、どのような撮影に適しているかが表示されます。

2 ポートレート
人物を撮影するのに最適です。
肌の質感を強調します。
選択 決定 OK

ご注意

- ［P オート］以外の各撮影シーンで画質やフラッシュの設定を変更しても、別の撮影シーンに切り換えるとそれぞれの初期設定に戻ります。

遠くのものを拡大して撮る

光学ズームとデジタルズームを使用して望遠の撮影ができます。光学ズームは、レンズの倍率を変えることによってCCDに拡大された像が写り、CCDの画素がすべて画像になります。デジタルズームは、CCDに写っている像の中心部分を切り出し、設定した画像サイズまで拡大します。小さいサイズを切り出して拡大するので、デジタルズームでの拡大率が大きくなるほど画像は粗くなります。

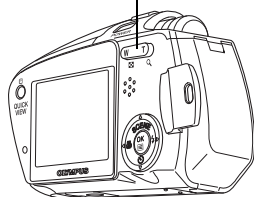
このカメラで可能なズームの倍率は以下のとおりです。

光学ズーム	2倍（35mmフィルムカメラ換算：35mm～70mm）
光学+デジタルズーム	最大約8倍

高倍率になるほど手ぶれが起こりやすくなりますのでご注意ください。

光学ズームで拡大する

1　ズームボタンを押します。

ズームボタン

広角：
ズームボタンのW側を押す

望遠：
ズームボタンのT側を押す

W　T

デジタルズームを使う

デジタルズームを使用する場合は、［デジタルズーム］を［オン］に設定します。

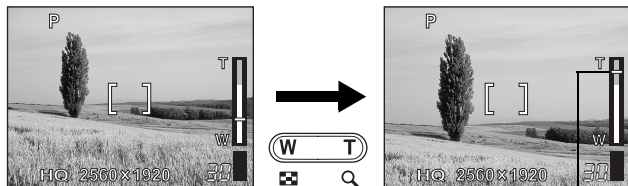
トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［デジタルズーム］

☞「メニュー」（P.13）

1 ［オン］を選択し、Ⓞを押します。

2 ズームボタンのT側を押します。

撮影
カ
設
測　光
ドライブ
ISO感度
デジタルズーム
AF方式
オフ
オン

P
T
W
HQ 2560×1920
30
W T

ズームバーの白い部分が光学ズームの領域です。デジタルズームが設定されると、ズームバーに赤い領域が表示されます。光学ズームで最大までズームアップすると、デジタルズームになります。

ズームの拡大率によってカーソルが上下に移動します。デジタルズームの領域に入るとカーソルがオレンジになります。

ご注意

- 動画モードでは、デジタルズームの倍率は最大3倍になります。

小さなものを接近して撮る（マクロ／スーパーマクロ）

近接した被写体（20～50cm）を撮影するときは、マクロモードに設定します。

マクロ 約 20.9 × 15.4cm サイズをほぼフレームいっぱいに撮影できます（光学ズームをもっとも広角にして、20cmまで近づいて撮影した場合）。

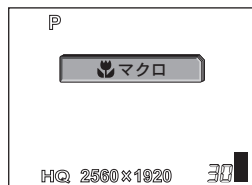
スーパーマクロ 被写体に約8cmまで接近して撮影できます。約4.4 × 3.3cmの被写体をフレームいっぱい撮影できます。スーパーマクロは通常の撮影距離にも対応しますが、ズーム位置は自動的に固定されて変更はできません。

マクロ

スーパーマクロ

1 ◁を繰り返し押して、[マクロ][スーパーマクロ]に設定します。

- 何も操作しないで約2秒経過すると、設定が確定し、モード選択表示は自動的に消えます。

P
マクロ
HQ 2560×1920 30

2 シャッターボタンを全押しして、撮影します。

ヒント

スーパーマクロで撮影すると、被写体が影になってしまう

→ 被写体をクローズアップするときに、画面中央部（AFターゲットマークの範囲）を測光し、被写体を適正露光で撮影すると、きれいな画像が撮れます。☞「ESP／スポット測光」（P.41）

ご注意

- マクロを設定した状態で、撮影距離が 50cm 以上の被写体を撮影する場合は、通常の撮影よりピント合わせに時間がかかります。
- スーパーマクロを設定した状態で、撮影距離が20cm以上の被写体を撮影する場合は、通常の撮影よりピント合わせに時間がかかります。
- フラッシュ使用時は影が目立ったり、十分な明るさにならないことがあります。
- スーパーマクロ撮影では、ズーム、フラッシュは使用できません。

フラッシュ撮影

撮影状況や目的に合わせてフラッシュの設定を選びます。フラッシュの発光量を補正することもできます。

フラッシュの到達距離
広角時：約0.2m～3.0m
望遠時：約0.2m～2.2m

オート発光（表示なし）

暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。

赤目軽減（◉）

暗い場所でフラッシュを使って人物を撮影するとき、目が赤く写る現象を軽減します。本発光の前に数回の予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。

目が赤く写ります

ご注意

- 最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。
- フラッシュを正面から見ていない場合や、予備発光を見ていない場合、距離が遠い場合などや個人差により、赤目軽減の効果が現れにくくなります。

強制発光（⚡）

フラッシュを必ず発光させます。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや、逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影のときに使用します。

ご注意

- 非常に明るい状況下では、効果が現れにくくなることがあります。

発光禁止（⊘）

暗いところでも発光させたくないときに使用します。フラッシュを使用できない場所での撮影に使用します。フラッシュが届かない遠景・夕景を撮りたいときにも使用します。

ご注意

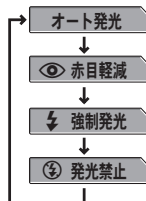
- 暗いところの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれを防ぐため三脚のご使用をおすすめします。

1 ▷⚡を繰り返し押して、フラッシュの設定を切り換えます。

- フラッシュの設定の順番は、矢印の順に変わります。

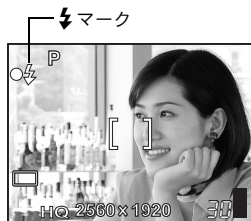
オート発光 → 赤目軽減 → 強制発光 → 発光禁止

- 何も操作しないで約2秒経過すると、設定が確定し、モード選択表示は自動的に消えます。

P
オート発光
HQ 2560×1920 30

2 シャッターボタンを半押しします。

- フラッシュが発光する条件のときは、⚡マークが点灯します（フラッシュ発光予告）。

3 シャッターボタンを全押しして、撮影します。

⚡マーク
P
HQ 2560×1920 30

ヒント

⚡（フラッシュ充電）マークが点滅した

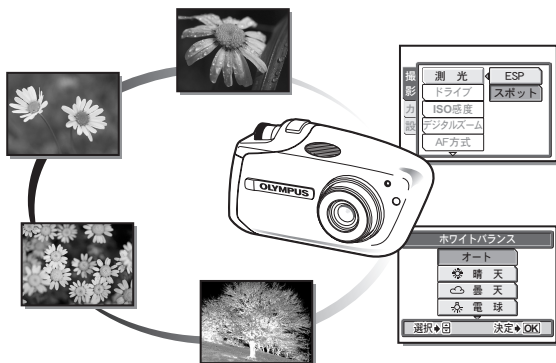
→ フラッシュ充電中です。⚡マークが消灯するまでお待ちください。

ご注意

- 以下の場合、フラッシュは使用できません。
  スーパーマクロ撮影／パノラマ撮影
- マクロ撮影でズームが W（広角）側にあるときは、特に画面内で光の量がムラになることがあります。必ず再生して画像を確認してください。

より高度な撮影機能

4

カメラにお任せの撮影モードは手軽で簡単、でもそれだけではもったいない。基本の撮影をマスターしたら、カメラの楽しみはこれからです。撮影条件を自由に調整し、もっと多彩な表現に挑戦してみましょう。
たとえば夜桜の撮影なら、夜空の色合いにも変化をつけてみましょう。ホワイトバランスを［電球］に設定すると、暗い空が青みを帯びた色合いに仕上がります。
使い方ひとつで思いがけない効果を得られます。いろいろ試して、カメラの可能性を引き出してみてください。

AF方式

被写体の焦点を合わせる方式を選択します。

iESP　画面の範囲内からピントを合わせる被写体を判断します。被写体が中央にない場合もピントは合います。

スポット　AFターゲットマーク内の被写体にピントを合わせます。

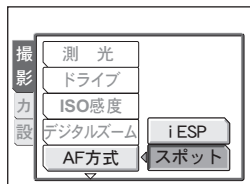
iESPに適した被写体

スポットに適した被写体

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［AF方式］

☞「メニュー」（P.13）

1　**［iESP］または［スポット］を選択し、Ⓞを押します。**

撮影
カ
設
測　光
ドライブ
ISO感度
デジタルズーム
AF方式
i ESP
スポット

測光

被写体の明るさを測るには、以下の2通りの方法があります。

ESP 画面の中央部と周辺部を別々に測光し、演算して最適な露出を決定します。

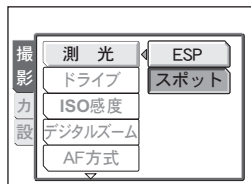
スポット AFターゲットマークの範囲を測光し、露出を決定します。逆光などで被写体が暗くなるときに背景の光などに影響されることなく、被写体を適正露出で撮影できます。

ESP／スポット測光

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［測光］

☞「メニュー」（P.13）

1 ［ESP］または［スポット］を選択し、Ⓞを押します。

撮影 測光 ESP スポット
ドライブ
ISO感度
デジタルズーム
AF方式

ISO感度

ISO感度は数値が大きいほど感度が高く、より暗いところ（光量が少ないところ）での撮影が可能になりますが、感度が高くなるにつれ電気的なノイズが増えて画像が粗くなります。

オート	被写体の条件に合わせて自動的に感度が変わります。
64/100/200/400	感度を低くすると、日中の撮影に最適でシャープな画像を撮ることができます。感度が高くなるにつれて、速いシャッター速度で撮影ができます。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [撮影] ▶ [ISO感度]

☞「メニュー」（P.13）

1 **[オート] [64] [100] [200] [400] からISO感度を選択し、OKを押します。**

撮影	測　光	オート
カ	ドライブ	64
設	ISO感度	100
	デジタルズーム	200
	AF方式	400

ご注意

- ISO感度は銀塩写真のフィルムを基準に設定されていますが、数値は目安です。
- ISO感度がオートに設定されているとき、暗いところでフラッシュを使わずに撮影すると、シャッター速度が遅くなります。この場合、手ぶれを防ぐため、自動的に感度が上がります。
- ISO感度がオートに設定されているとき、被写体が遠くフラッシュ光が届かない場合、自動的に感度が上がります。

露出補正

露出を手動で微調整します。1/3EV刻みで±2.0EVの範囲で設定できます。露出を補正した結果は液晶モニタで確認できます。

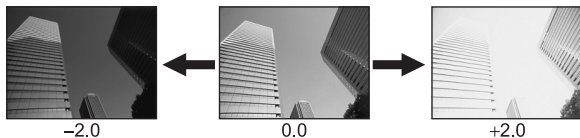
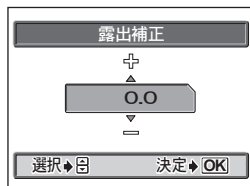
トップメニュー ▶［露出補正］

☞「メニュー」（P.13）

1 △▽ を押して補正値を調整し、OK を押します。

- ＋方向に補正する　△を押すと、1/3EV刻みで+2.0EVまで設定できます。
- －方向に補正する　▽を押すと、1/3EV刻みで–2.0EVまで設定できます。

露出補正
＋
0.0
－
選択 決定 OK

–2.0　0.0　+2.0

ヒント

- 通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、＋に補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆に－に補正すると効果的です。
- 撮影する被写体によっては、カメラが自動的に設定した露出を補正したほうがよいときがあります。

ご注意

- フラッシュを使用すると意図した明るさ（露出）で撮影できないことがあります。
- 撮るものの周囲が極端に明るいときや極端に暗いときは、露出補正で補正しきれないときがあります。

ホワイトバランス

被写体は光源によって色が変わります。たとえば、白い紙に晴天時の太陽があたっているとき、夕日があたっているとき、電球の灯りがあたっているときでは、それぞれの白が異なります。ホワイトバランスを調整することにより、このような光源による微妙な色の違いを見たままの色に表現することができます。

オート	光源によらず、全体の色のバランスを自動的に調整します。
晴天（☼）	晴天時の撮影に適しています。
曇天（☁）	曇天時の撮影に適しています。
電球（☀）	電球の灯りのもとでの撮影に適しています。
蛍光灯1（1）	昼光色の蛍光灯の灯りのもとでの撮影に適しています。昼光色の蛍光灯は、主に家庭で使われています。
蛍光灯2（2）	昼白色の蛍光灯の灯りのもとでの撮影に適しています。昼白色の蛍光灯は、デスク上のスタンドなどに一般的に使われています。
蛍光灯3（3）	白色の蛍光灯の灯りのもとでの撮影に適しています。白色の蛍光灯は、オフィスなどで一般的に使われています。

トップメニュー ▶［ホワイトバランス］ ☞「メニュー」（P.13）

1 ホワイトバランスを選択し、OK を押します。

ホワイトバランス
オート
晴　天
曇　天
電　球
選択 ⇨ 決定 ⇨ OK

ヒント

- 実際の光源とは異なるホワイトバランスを選択し、その設定を液晶モニタで確認すると、様々な色調が楽しめます。
- 朝日や夕日を赤く撮りたいときは、ホワイトバランスを晴天や曇天に設定すると、きれいに撮影できます。

ご注意

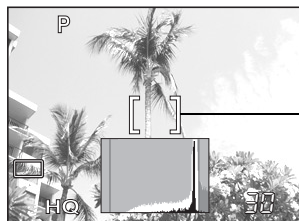
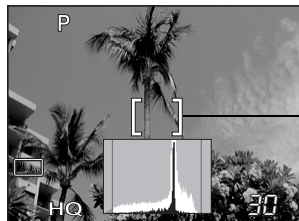
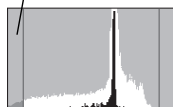
- 複数の照明があたっているなどの特殊な光源下では、ホワイトバランスの効果が発揮できない場合があります。
- オート以外のホワイトバランスに設定して撮影した場合、画像を再生して色を確認してください。
- オート以外のホワイトバランスに設定してフラッシュを発光した場合、液晶モニタで見た色と異なった色で撮影されることがあります。

ヒストグラム表示

静止画撮影時に液晶モニタに写っている画像の輝度成分をグラフ化してヒストグラム表示します。
被写体の明るさのコントラストを確認しながら撮影できるので、より厳密に露出をコントロールすることができます。

オフ　ヒストグラムを表示しません。
オン　常にヒストグラムを表示します。

例）P（プログラム）オートで［オン］が選択されたとき

明るい画像のとき

暗い画像のとき

ヒストグラムの緑色の部分は、AFターゲットマーク内の輝度分布です。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［ヒストグラム表示］▶［オフ］／［オン］

☞「メニュー」（P.13）

ご注意

- ヒストグラム表示を［オン］に設定していても、以下のときはヒストグラム表示はしません。
  パノラマ撮影時／合成ツーショット撮影時
- 撮影時に表示されたヒストグラムは、再生時に表示されるものとは異なることがあります。

いろいろな撮影機能

5

スポーツ観戦や運動会で…
ムービー撮影で大歓声も録音して迫力を保存。シュートやゴールは連写で動きをとらえ、後からベストショットをチョイス。

大自然でも観光地でも…
美しい山並みや壮大な建築物をパノラマ撮影でワイドに撮ってみましょう。

仲間が集まったら…
同窓会、ホームパーティなどのイベントでもセルフタイマーを使えば全員で集合写真を撮ることができます。

ムービー撮影

ムービー（動画）を撮影します。音声も同時に記録されます。
ムービーの撮影中は、被写体が動いても露出は常に正しく合いますが、ピントとズームは固定されますので、被写体との距離が変化するとピントが外れる場合があります。

1 構図を決めます。

- 使用しているカードで記録できる撮影可能時間が液晶モニタに表示されます。
- ズームボタンで被写体を拡大できます。

HQ 00:36

撮影可能時間

2 シャッターボタンを全押しして撮影を始めます。

- ムービー撮影中は マークが赤く点灯します。

00:36

3 もう一度シャッターボタンを押して、撮影を終了します。

- 撮影可能時間が0になると、自動的に撮影を終了します。
- カードに空き容量がある場合は、撮影可能時間が表示され、次の撮影ができます。

ヒント

撮影中、ズームを使いたい

→ 撮影中は光学ズームは使用できません。ズームを使いたいときは、［デジタルズーム］を［オン］に設定します。☞「デジタルズームを使う」(P.33)

ご注意

- 撮影中、カードの状態によっては、撮影可能時間が急激に減ることがあります。この場合は、このカメラでカードをフォーマットしてから使用してください。☞「フォーマット」(P.84)
- 🎥モードでは、フラッシュは使用できません。
- 録音マイクやスピーカに水滴がついた場合は、音声が一時的に劣化します。水滴が蒸発すれば元に戻ります。

長時間ムービー撮影をする場合のご注意

- 再度シャッターボタンを押してムービー撮影を終了しない限り、カードの空き容量がなくなるまで撮影が続きます。
- 一度のムービー撮影でカードの空き容量がなくなったときは、その画像を消去するか、パソコンにダウンロードしてから消去して、カードに空きを作ってください。

連写

シャッターボタンを押している間、静止画を連続して撮影します（画質モードが［HQ］の場合、4枚連続撮影できます）。
連続した画像の中から好みの画像を選べるため、動いているものの撮影におすすめです。

単写　一度のシャッターボタン押しで、1コマだけ撮影されます。（通常の撮影モード、1コマ撮影）

連写　シャッターボタンを押している間、静止画を連続して撮影します。最初の1コマでピント、明るさ（露出）、ホワイトバランスが固定されます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［ドライブ］

☞「メニュー」（P.13）

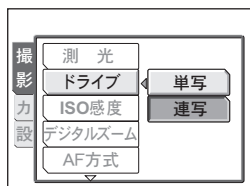
1 ［連写］を選択し、Ⓞを押します。

2 撮影します。

- シャッターボタンを全押ししている間は連写が続きます。指をはなすと連写は止まります。

撮影 カ 設
測　光
ドライブ
ISO感度
デジタルズーム
AF方式
単写
連写

ご注意

- 以下の場合、連写はできません。
  パノラマ撮影時／合成ツーショット撮影時
  撮影シーンが、、、、に設定されている場合
- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。
- ［連写］を設定すると、フラッシュの設定を［赤目軽減］にすることはできません。［赤目軽減］を設定中に［連写］を選択すると、自動的にフラッシュの設定が［オート発光］に切り換わります。

セルフタイマー撮影

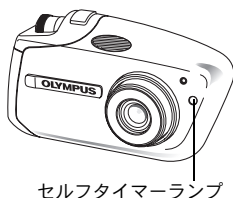
セルフタイマーを使って撮影します。カメラを三脚にしっかり固定して撮影してください。記念写真などを撮るときに便利です。

1 ▽を繰り返し押して、[セルフタイマー オン] に設定します。

- 何も操作しないで約2秒経過すると、設定が確定し、モード選択表示は自動的に消えます。

P
セルフタイマー オン
HQ 2560×1920 30

2 シャッターボタンを全押しして、撮影します。

- ピントと露出はシャッターボタンを半押しした時点で固定されます。
- セルフタイマーランプが約 10 秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、シャッターが切れます。
- ムービー撮影の場合、再度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了してください。
- 作動中のセルフタイマーを中止するには、▽を押します。
- セルフタイマーモードは、一回の撮影が終わると自動的に解除されます。

OLYMPUS
セルフタイマーランプ

ご注意

- カメラレンズの直前に立って、セルフタイマーを作動しないでください。ピントや露出が合わなくなります。

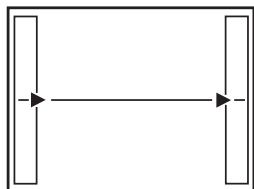
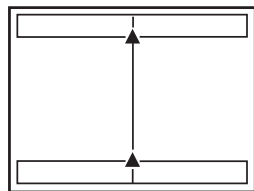
パノラマ撮影

当社製のxD-ピクチャーカードを使うと、パノラマ撮影が簡単に楽しめます。被写体の端が重なるようにして撮影した何枚かの画像を、OLYMPUS Master（付属のCD-ROMに収録）でつなぎ合わせ、1枚のパノラマ合成画像を作成することができます。

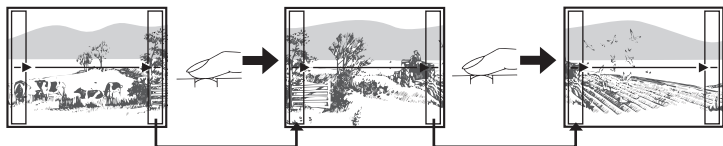
トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［パノラマ］

☞「メニュー」（P.13）

1 十字ボタンでつなげる方向を指定します。

▷ ：次の画像を右につなげます。
◁ ：次の画像を左につなげます。
△ ：次の画像を上につなげます。
▽ ：次の画像を下につなげます。

左から右へ画像をつなぐ撮影をする場合

下から上へ画像をつなぐ撮影をする場合

2 被写体の端が重なるように撮影します。

- ピント・露出・ホワイトバランスなどは、1枚目で決定されます。1枚目に太陽などの光の強い被写体を入れた撮影などをしないでください。
- 1枚目を撮影した後は、ズーム操作はできません。
- 最大10枚までパノラマ撮影が可能です。
- 10 枚撮り終わると警告マーク が表示されます。

端の枠に、前に撮影した画像の合わせるべき部分は残っていません。撮影時には、この枠の画像を覚えていて、次のコマの枠の画像と同じになるように撮影してください。前に撮影した画像の右端（左回りのときは左端）は、次の画像の左端（左回りのときは右端）と同じ画像が撮影できるように構図を設定して撮影してください。

3 パノラマ撮影を終了するには、OKを押します。

ご注意

- パノラマ合成機能付きのカード以外でパノラマ撮影はできません。
- パノラマ撮影中はフラッシュ、連写は使用できません。
- パノラマ合成はカメラ本体ではできません。パノラマ合成画像を作成する場合は、OLYMPUS Masterをご使用ください。

合成ツーショット

2回続けて撮影した画像を隣り合わせに配置して、1枚の画像として保存します。別々の被写体を1枚の画像にして楽しむことができます。

再生時の画像

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [撮影] ▶ [合成ツーショット]

☞「メニュー」(P.13)

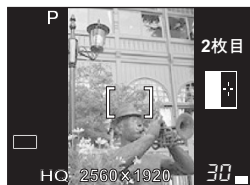
1 1枚目を撮影します。

- 撮影した被写体は合成時には左側に配置されます。

P
1枚目
HQ 2560×1920 30

2 続けて2枚目を撮影します。

- 撮影した被写体は合成時には右側に配置されます。
- 2枚目を撮影すると、自動的にメニューに戻ります。

P
2枚目
HQ 2560×1920 30

ヒント

- まだ1枚も撮影していない状態、または1枚目を撮影した状態で合成ツーショットを解除したい場合は、OKを押してください。1枚目に撮影した画像は記録されません。

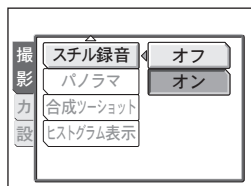
スチル録音

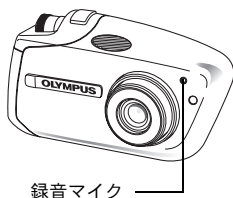
静止画撮影時に音声を録音します。シャッターが切れてから約0.5秒後に録音を開始し、約4秒間録音します。
スチル録音をオンに設定すると、撮影後、毎回自動的に録音します。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [撮影] ▶ [スチル録音]

☞「メニュー」(P.13)

1 [オン] を選択し、OKを押します。

撮影
影
カ
設
スチル録音
パノラマ
合成ツーショット
ヒストグラム表示
オフ
オン

2 シャッターボタンを押して録音が始まったら、カメラのマイクを録音する対象に向けます。

OLYMPUS
録音マイク

? ヒント

- スチル録音した画像は再生したときに液晶モニタに[♪]が表示されます。録音した画像を再生すると、音声がスピーカから出力されます。音量は調節することができます。☞「再生音量」(P.90)
- 静止画再生中に、音声をあとから録音することができます。また、録音済みの音声を録音し直すこともできます。☞「音声の録音」(P.76)

! ご注意

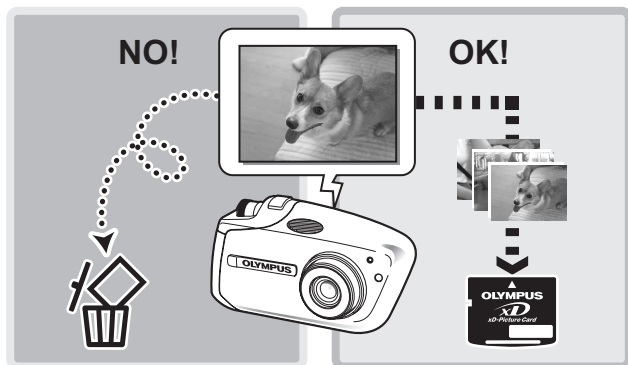
- 録音対象がカメラから1m以上はなれると、きれいに録音されない場合があります。
- 録音中は撮影ができません。
- 以下の場合は、録音できません。
  連写が設定されている場合／パノラマ撮影／合成ツーショット
- 録音中にボタン操作などを行うと、その音が録音されてしまうことがあります。
- カードの空き容量が不足している場合は、録音できないことがあります。

再生

6

フィルムを使うカメラでは、撮影した写真は現像するまで見ることができません。できあがった写真を見て失敗作！とがっかりしたことはありませんか？　ボケた風景写真や目をつぶってしまった写真。ちゃんと撮れたか自信がなくて何度も同じような写真を撮ってしまったり。これでは、大切な思い出を安心して記録することができませんね。
デジタルカメラではどうでしょう。デジタルカメラなら撮影後すぐに再生できます。シャッターボタンを押したら、その場で撮った画像を確認しましょう。うまく撮れなかったら、その場で消してしまえばよいのです。さあ、失敗を恐れず、どんどんシャッターボタンを押しましょう！

NO!

OK!

静止画の再生

• 液晶モニタが点灯し、最後に撮影した画像が表示されます。

1 十字ボタンで、見たい画像を表示します。

▷ ： 次の画像を表示

◁ ： 1コマ前の画像を表示

△ ： 10コマ前の画像を表示

▽ ： 10コマ先の画像を表示

2 ズームボタンのT側またはW側を押します。

• 画像を拡大して表示（クローズアップ再生）したり、複数の画像を一覧表示（インデックス再生）したりできます。

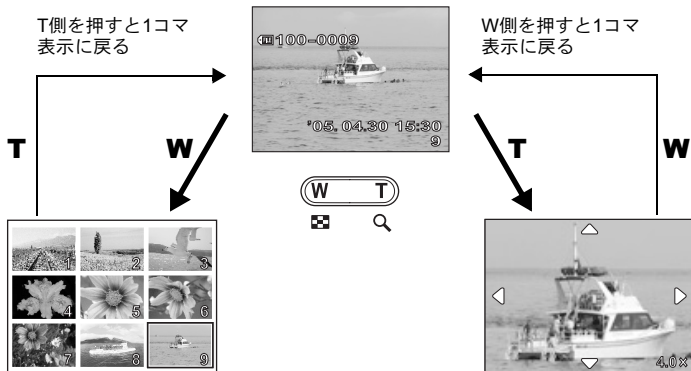
T側を押すと1コマ表示に戻る

W側を押すと1コマ表示に戻る

100–0009

'05. 04.30 15:30
9

T W T W

W T

インデックス再生

• インデックス再生中、十字ボタンで画像を選択します。
• 表示するコマ数を選択できます。☞「インデックス分割数」（P.59）

クローズアップ再生

• T側を押すごとに8倍まで拡大表示されます。
• クローズアップ再生中に十字ボタンを押すと、その方向に画像がスクロールします。
• 拡大した状態で画像を保存することはできません。
• ムービーはクローズアップ再生できません。

ヒント

- 撮影モードで**QUICK VIEW**ボタンを押しても、再生することができます。
- 画面上の撮影情報は、3秒で消えます。

ご注意

- 3分以上何も操作をしないとスリープモード（待機状態）になり、液晶モニタが消灯します。

インデックス分割数

インデックス再生のコマ数を4コマ、9コマ、16コマ、25コマから選択します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［インデックス表示］▶［4］／［9］／［16］／［25］

☞「メニュー」（P.13）

カレンダー再生

カードに保存されている画像を、カレンダー上の日付で指定して表示することができます。同じ日付に複数の画像がある場合は、その日最初に撮影された画像が表示されます。

1　ズームボタンのW側（▦）を2回押します。

- インデックス再生中は、ズームボタンのW側（▦）を1回押します。
- カレンダー再生画面が表示されます。

2 十字ボタンを押して日付を選択します。

◁ ：画像がある前の日付に移動。

▷ ：画像がある次の日付に移動。

△ ：画像がある前の月の最後の日付に移動。

▽ ：画像がある次の月の最初の日付に移動。

- カレンダー再生中、ズームボタンのT側を押すと1コマ再生に切り換わります。

2005 2

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	1	2	3	3	5
6	7	8	9	10	11	12

例：2月25日を選択している場合

2005 1

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

2005 2

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	1	2	3	3	5
6	7	8	9	10	11	12

2005 3

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
27	28	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9

- ◁ を押すと、2月23日へ移動
- ▷ を押すと、2月27日へ移動
- △を押すと、1月29日へ移動
- ▽を押すと、3月12日へ移動

ご注意

- 画像がない月は表示されません。
- カメラの日時設定を行っていない場合／付属のOLYPUS Masterで日付の変更を行った場合は、実際の撮影日とは異なる日付に画像が表示されることがあります。

スライドショー

カードに記録されている静止画を1枚ずつ自動的に再生します。画像が切り換わる際の効果を 4 種類から選択することができます。ムービーコマは、最初のフレームのみが静止画と同じように再生されます。

標準 ：カードに記録されている画像を1コマずつ再生します。
フェード ：次の画像が徐々に浮かび上がるように表示されます。
スライド ：次の画像が画面の上下にスライドして表示されます。
ズーム ：次の画像が画面左上から徐々に広がって表示されます。

静止画を選択してトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶ [スライドショー] ☞「メニュー」(P.13)

1　スライドショーの種類を［標準］［フェード］［スライド］［ズーム］から選択し、Ⓞを押します。

スライドショー
標　準
フェード
スライド
ズーム
選択➡　決定➡OK

- スライドショーがスタートします。

2　Ⓞを押します。

- スライドショーが終了し、1コマ表示に戻ります。
- Ⓞを押すまでスライドショーが繰り返されます。

回転再生

カメラを縦に構えて撮影した画像は、横向きに表示されます。このような横向きの画像を回転して縦向きに表示します。反時計方向に90度、時計方向に90度の回転ができます。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [再生] ▶ [回転表示] ▶ [+90°] ／ [0°] ／ [–90°] ☞「メニュー」(P.13)

- アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［回転表示］▶［+90°］／［0°］／［–90°］

ご注意

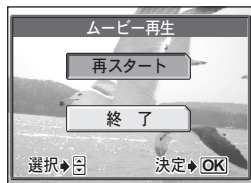
- 次の画像は回転再生できません。
  ムービー／プロテクトされた画像／パソコンで編集した画像
- 電源を切っても、画像が回転された状態は記録されます。

ムービーの再生

ムービーを再生します。早送りやコマ送り再生をすることができます。
マークの付いた画像を選択してトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［ムービー再生］　☞「メニュー」（P.13）

- ムービーが再生されます。再生が終わるとムービーの先頭に戻り、ムービー再生メニューが表示されます。
- ［再スタート］を選択すると、もう一度再生します。［終了］を選択すると、再生モードに戻ります。

ムービー再生
再スタート
終　了
選択 決定 OK

●ムービー再生中の操作

△▽を押して、再生中に音量を調節することができます。

△ ：音量を大きくします。
▽ ：音量を小さくします。
▷ ：押すたびに再生速度が1倍から2倍、20倍、1倍に変わります。
◁ ：逆再生します。押すたびに逆再生の速度が1倍から2倍、20倍、1倍に変わります。
OK ：一時停止し、コマ送りの状態になります。

100–0015 HQ
'05. 04.30 15:30
00:02/00:30

再生時間/録画時間

●コマ送りの操作

△ ：ムービーの先頭のコマを表示します。
▽ ：ムービーの末尾のコマを表示します。
▷ ：ムービーのコマが進みます。押し続けると再生します。
◁ ：ムービーのコマが戻ります。押し続けると逆再生します。
OK ：ムービー再生メニューが表示されます。

00:03/00:30

ご注意

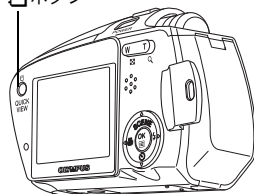
- カメラ本体のランプが赤く点滅しているときは、カードからカメラへの画像の読み出しが行われています。画像の読み出しには時間がかかることがあります。カメラ本体のランプが赤く点滅しているときは、絶対に電池／コネクタカバーを開けないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、カードが破壊され使用できなくなる場合があります。

アルバムの再生

撮った画像をカード内のアルバムに分類して、整理することができます。アルバムは12個あり、各アルバムに200枚の画像を登録できます。また、付属のCD-ROMに収録されているOLYMPUS Masterを使って、パソコンから画像をカード内のアルバムに入れることもできます。

再生モードで ボタンを押すと、アルバム再生モードに切り換わります。

ボタン

QUICK VIEW

アルバム再生モードの表記

ここでは、アルバム再生モードに切り換えた状態で操作する必要がある場合、以下のアイコンで示します。

● アルバム再生モードのメニュー

アルバム再生モードで を押すと、アルバム再生モードのトップメニューが表示されます。

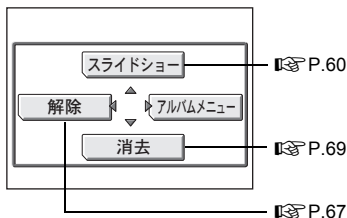
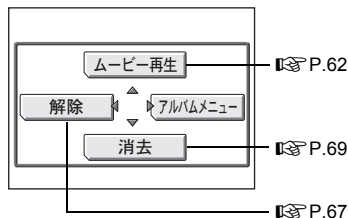
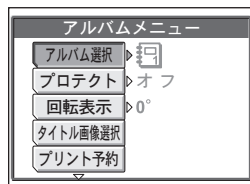
- アルバム再生モードのメニューは、通常の撮影モード・再生モードと同様に十字ボタンと を使って設定できます。「メニューの操作方法」（P.16）

トップメニュー

静止画選択時

スライドショー P.60
解除 P.67
アルバムメニュー
消去 P.69

ムービー選択時

ムービー再生 P.62
解除 P.67
アルバムメニュー
消去 P.69

アルバムメニュー

アルバムメニューで設定できる機能

機能名	参照頁	機能名	参照頁
アルバム選択	P.67	プリント予約	P.107
プロテクト	P.82	再生音量	P.90
回転表示	P.61	モニタ調整	P.94
タイトル画像選択	P.70	ビデオ出力	P.79

アルバム登録

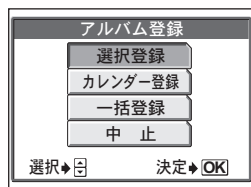
撮影した静止画やムービーをアルバムに登録します。

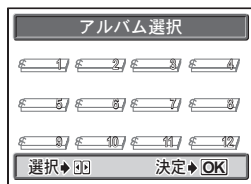
トップメニュー ▶ [アルバム登録] ☞「メニュー」(P.13)

1 アルバムの登録方法を選択します。

選択登録 1コマずつ画像を選択し、登録します。

カレンダー登録 カレンダー画面で日付を選択し、同じ日付の画像を一つのアルバムに登録します。

一括登録 静止画のみ、または動画のみ、プロテクト画像のみを選択し、一つのアルバムに登録します。

2 ◁▷を押して画像を登録するアルバムを選択し、Ⓞを押します。

アルバム選択
1 2 3 4
5 6 7 8
9 10 11 12
選択 ◁▷ 決定 OK

● 選択登録

3 ◁▷を押して登録したい画像を選択し、△を押します。

- ズームボタンのT側を押すと、1コマ再生で画像を選択できます。
- 選択した画像に✓が表示されます。
- 再度△を押すと、選択は解除されます。
- 登録する画像が複数ある場合は、手順3を繰り返します。

画像選択
選択 △ 決定 OK

4 登録する画像が決まったら、Ⓞを押します。

5 ［実行］を選択し、Ⓞを押します。

● カレンダー登録

3 △▽◁▷ を押して登録したい画像のある日付を選択し、Ⓞを押します。

4 ［実行］を選択し、Ⓞを押します。

2005
2

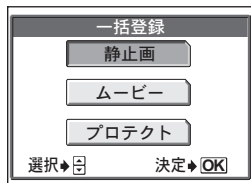
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	1	2	3	3	5
6	7	8	9	10	11	12

6 再生

●一括登録

3 ［静止画］［ムービー］［プロテクト］から選択し、OKを押します。

4 ［実行］を選択し、OKを押します。

一括登録
静止画
ムービー
プロテクト
選択 決定 OK

ご注意

- フォーマット／全コマ消去をするとアルバムに登録された画像も消去されます。
- 同じ画像を複数のアルバムに登録することはできません。
- カレンダー登録では、撮影日の同じ画像がカレンダー上の同一日付に登録されます。
- カレンダー登録／一括登録で登録しようとする画像が200枚を超える場合は、日付の古い順に200枚まで登録できます。

アルバム再生

アルバム内の画像だけを再生します。

1 ボタンを押します。

- ［アルバム選択］画面が表示されます。

2 ◁▷を押して表示したいアルバムを選択し、OKを押します。

- アルバム内に画像が登録されていない場合は、アルバム再生はできません。

アルバム選択
選択 決定 OK

タイトル画像（アルバム内のコマ番号1の画像）

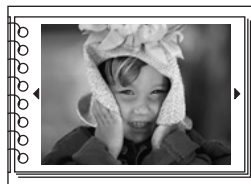
3 十字ボタンで、見たい画像を表示します。

▷ ：次の画像を表示

◁ ：1コマ前の画像を表示

△ ：10コマ前の画像を表示

▽ ：10コマ先の画像を表示

- ズームボタンのT側を押すと、画面の情報が表示されます。

4 ボタンを押します。

- 通常の再生モードに戻ります。

ヒント

- 他のアルバムに切り換えたいときは、トップメニューから［アルバムメニュー］▶［アルバム選択］を選び、切り換えたいアルバムを選択します。

アルバム画像の解除

アルバムに登録されている画像を解除します。アルバムに登録した画像を解除するだけで、カードには画像が保存されています。

アルバム再生モードで解除する画像のあるアルバムを選択してトップメニューを表示してください。

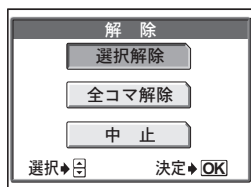
トップメニュー ▶［解除］

☞「メニュー」（P.13）

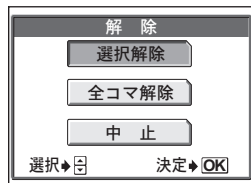
1 アルバムの解除方法を選択します。

選択解除 1コマずつ画像を選択し、解除します。

全コマ解除 アルバム内の全画像を解除します。

解　除
選択解除
全コマ解除
中　止
選択 決定 OK

●選択解除

2 **[選択解除] を選択し、Ⓞを押します。**

解　除
選択解除
全コマ解除
中　止
選択 決定 OK

3 **◁▷を押して解除したい画像を選択し、△を押します**

- ズームボタンのT側を押すと、1コマ再生で画像を選択できます。
- 選択した画像に✓が表示されます。
- 再度△を押すと、選択は解除されます。
- 解除する画像が複数ある場合は、手順3を繰り返します。

画像選択
選択 決定 OK

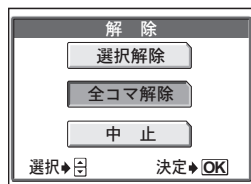
4 **解除する画像が決まったら、Ⓞを押します。**

5 **[実行] を選択し、Ⓞを押します。**

●全コマ解除

2 **[全コマ解除] を選択し、Ⓞを押します。**

3 **[実行] を選択し、Ⓞを押します。**

解　除
選択解除
全コマ解除
中　止
選択 決定 OK

アルバム画像の消去

アルバムに登録されている画像を消去します。アルバム画像の解除と異なり、カード内の画像が消去されます。
消去する画像のあるアルバムを選択してトップメニューを表示してください。

ご注意

- 消去したい画像がプロテクトされている場合は消去できません。画像のプロテクトを解除してから消去してください。
- 消去した画像は元に戻せません。消去する前に、大切なデータを消さないように十分に注意してください。☞「画像を保護する」（P.82）

トップメニュー ▶［消去］ ☞「メニュー」（P.13）

1 アルバムの消去方法を選択します。

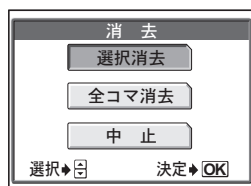
選択消去 1コマずつ画像を選択し、消去します。

全コマ消去 アルバム内の全画像を消去します。

消　去
選択消去
全コマ消去
中　止
選択 決定 OK

●選択消去

2 ［選択消去］を選択し、OKを押します。

消　去
選択消去
全コマ消去
中　止
選択 決定 OK

3 **◁▷を押して消去したい画像を選択し、△を押します**

- ズームボタンのT側を押すと、1コマ再生で画像を選択できます。
- 選択した画像に✓が表示されます。
- 再度△を押すと、選択は解除されます。
- 消去する画像が複数ある場合は、手順3を繰り返します。

画像選択
選択◆△　決定◆OK

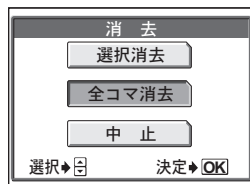
4 **消去する画像が決まったら、Ⓞを押します。**

5 **［消去］を選択し、Ⓞを押します。**

●全コマ消去

2 **［全コマ消去］を選択し、Ⓞを押します。**

3 **［消去］を選択し、Ⓞを押します。**

消　去
選択消去
全コマ消去
中　止
選択◆　決定◆OK

タイトル画像の変更

アルバム選択画面に表示されるタイトル画像（アルバム内のコマ番号1の画像）を変えることができます。
変更するアルバムを選択してトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［タイトル画像選択］

☞「メニュー」（P.13）

1 **◁▷を押してタイトルにする画像を選択し、OKを押します。**

2 **［決定］を選択し、OKを押します。**

100-0010 HQ
'05.04.30 15:30
10

静止画の編集

撮影した静止画を編集して別の画像として保存します。以下の編集を行うことができます。

ソフトフォーカス	撮影した画像にソフトフォーカス効果を施し、オリジナルの画像とは別の新規画像として保存します。 ソフトフォーカスでは、全体を適度にぼかし、雰囲気のある画像を作成できます。
フィッシュアイ	撮影した画像にフィッシュアイ効果を施し、オリジナルの画像とは別の新規画像として保存します。 フィッシュアイでは、球面状に変形させた画像を作成できます。
モノクロ	撮影した画像をモノクロ（白黒）に変換して、オリジナルの画像とは別の新規画像として保存します。
セピア	撮影した画像をセピア色に変換して、オリジナルの画像とは別の新規画像として保存します。
リサイズ	撮影した画像のサイズを変更して、オリジナルの画像とは別の新規画像として保存します。Webの掲載や e メールへの添付などは、小さなサイズにすると便利です。
トリミング	画像の一部を拡大して、別の画像として保存します。

編集する静止画を選択してトップメニューを表示してください。

ソフトフォーカス

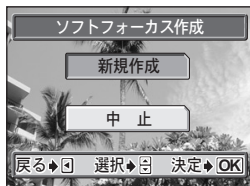
トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [編集] ▶ [ソフトフォーカス作成]

☞「メニュー」(P.13)

1 [新規作成] を選択し、OKを押します。

ソフトフォーカス作成
新規作成
中　止
戻る◆◀　選択◆▲▼　決定◆OK

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。
- ソフトフォーカス作成された画像は元の画像とは別の画像として保存されます。
- ソフトフォーカス作成を中止するときは［中止］を選択し、OKを押します。
- 次の場合はソフトフォーカス作成できません。

  ムービー／カードの空き容量が不足している場合

フィッシュアイ

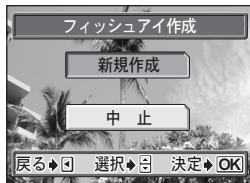
トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [編集] ▶ [フィッシュアイ作成]

☞「メニュー」(P.13)

1 [新規作成] を選択し、OKを押します。

フィッシュアイ作成
新規作成
中　止
戻る◆◀　選択◆▲▼　決定◆OK

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。
- フィッシュアイ作成された画像は元の画像とは別の画像として保存されます。
- フィッシュアイ作成を中止するときは［中止］を選択し、OKを押します。
- 次の場合はフィッシュアイ作成できません。

  ムービー／カードの空き容量が不足している場合

モノクロ

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［編集］▶［モノクロ作成］

☞「メニュー」（P.13）

1 ［新規作成］を選択し、Ⓞを押します。

モノクロ作成
新規作成
中　止
戻る◆◁　選択◆⇕　決定◆OK

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。
- モノクロ作成された画像は元の画像とは別の画像として保存されます。
- モノクロ作成を中止するときは［中止］を選択し、Ⓞを押します。
- 次の場合はモノクロ作成できません。
  ムービー／カードの空き容量が不足している場合

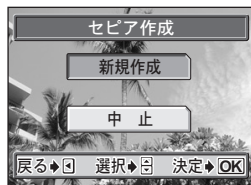
セピア

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［編集］▶［セピア作成］

☞「メニュー」（P.13）

1 ［新規作成］を選択し、Ⓞを押します。

セピア作成
新規作成
中　止
戻る◆◁　選択◆⇕　決定◆OK

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。
- セピア作成された画像は元の画像とは別の画像として保存されます。
- セピア作成を中止するときは［中止］を選択し、Ⓞを押します。
- 次の場合はセピア作成できません。
  ムービー／カードの空き容量が不足している場合

リサイズ

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［編集］▶［リサイズ］

☞「メニュー」（P.13）

1 画像サイズを選択し、Ⓞ を押します。

リサイズ
640 × 480
320 × 240
中　止
戻る◆◀　選択◆▲▼　決定◆OK

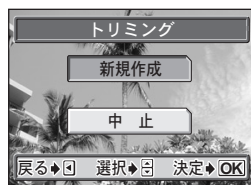
- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。
- リサイズされた画像は元の画像とは別の画像として保存されます。
- リサイズを中止するときは［中止］を選択し、Ⓞを押します。
- 次の場合はリサイズできません。
  ムービー／パソコンで編集した画像／カードの空き容量が不足している場合／他のカメラで撮影した画像
- 撮影時の画像サイズが640 × 480の場合、［640 × 480］の設定はできません。

トリミング

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［編集］▶［トリミング］

☞「メニュー」（P.13）

1 ［新規作成］を選択し、Ⓞを押します。

トリミング
新規作成
中　止
戻る◆◀　選択◆▲▼　決定◆OK

2 十字ボタンとズームボタンを使って、トリミングの位置とサイズを決めます。

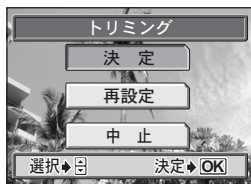
- △▽◁▷ を押してトリミングする位置を移動します。
- ズームボタンの W 側または T 側を押して、トリミングのサイズを決めます。

3 Ⓞを押します。

4 ［決定］を選択し、Ⓞを押します。

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。
- トリミングされた画像は元の画像とは別の画像として保存されます。
- トリミングをやり直す場合は［再設定］を選択してⓄを押します。手順2からやり直します。
- トリミングを中止するときは［中止］を選択し、Ⓞを押してください。

決定 ◆ OK

トリミング
決　定
再設定
中　止
選択 ◆ 決定 ◆ OK

ご注意

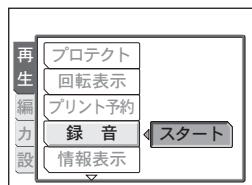
- 次の場合はトリミングできません。
  ムービー／カードの空き容量が不足している場合／撮影時の画像サイズが640 × 480の場合
- トリミングした画像を印刷した場合、粗くなることがあります。

音声の録音

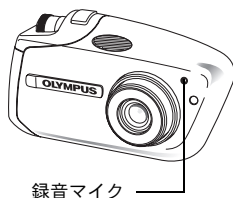
撮影済みの静止画に音声を録音（アフレコ）します。また、録音済みの音声を新たに録音し直すこともできます。録音できる時間は1画面につき約4秒間です。音声を録音したい静止画を選択しておきます。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [再生] ▶ [録音]

☞「メニュー」（P.13）

1 ▷を押すと［スタート］が表示されます。

2 カメラの録音マイクを録音したい対象に向けて㊊を押すと、録音が開始されます。

- 録音中を示すバーが表示されます。

録音マイク

ご注意

- 録音対象がカメラから約1m以上はなれると、きれいに録音されない場合があります。
- 録音済みの画像に再度録音した場合は、前の音声が消えて新しい音声のみ残ります。
- カード残量がない場合（警告画面が表示されるカード）では、録音できないことがあります。
- 録音中にボタン操作をすると操作音が録音されることがあります。
- 一度録音したら音声のみを消すことはできません。音声を入れず（無音状態）再録音してください。

インデックス作成

作成したムービーの内容が一目でわかるようにムービーを9分割して画面に表示し、1つの画像として保存（インデックス作成）します。
🎥のついた画像を選択してトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［編集］▶［インデックス作成］

☞「メニュー」（P.13）

1 ［新規作成］を選択し、OKを押します。

- 作成中を示すバーが表示され、ムービーから抜き出された9コマの画像がインデックス表示された後、再生モードに戻ります。作成された画像は新規の画像として保存されます。
- インデックス作成を中止するときは［中止］を選択し、OKを押してください。

インデックス作成
新規作成
中　止
選択 ◆ ⇕　　決定 ◆ OK

ヒント

- インデックス作成された画像は、ムービー撮影時の画質とは異なる静止画として保存されます。

ムービー撮影時の画質モード	インデックス画像の画質
HQ	SQ2（1024 × 768ピクセル）
SQ	SQ2（640 × 480ピクセル）

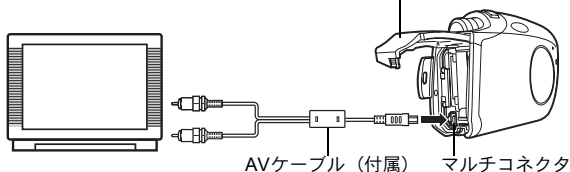
ご注意

- ムービーの記録時間により、自動的に抜き出される画像の間隔は異なります。
- インデックス作成されるコマ数は、9コマです。
- カードの空き容量が不足しているときは作成することはできません。

テレビ再生

付属のAVケーブルでテレビに接続して画像を再生します。静止画とムービーの両方の再生ができます。

1 カメラとテレビの電源を切り、付属のAVケーブルでカメラのマルチコネクタとテレビのビデオ入力端子を接続します。

テレビの映像入力端子（黄色）と音声入力端子（白）へつなぎます。
電池／コネクタカバー
AVケーブル（付属）
マルチコネクタ

2 テレビの電源を入れて［ビデオ入力］に設定します。

- ビデオ入力の設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3 パワースイッチを押して、カメラの電源を入れます。

- 最後に撮影した画像がテレビに表示されますので、十字ボタンで表示する画像を選択します。

ヒント

- テレビで再生する場合は、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。
- クローズアップ再生、インデックス再生、スライドショー等の再生機能が可能です。

ご注意

- カメラのビデオ信号が、お使いのテレビの映像信号に合っていることを確認してください。☞「ビデオ出力」（P.79）
- AVケーブルを接続すると、カメラの液晶モニタの表示は消えます。
- テレビとの接続には必ず付属のAVケーブルをご使用ください。
- テレビにより画像が画面中央からずれることがあります。

ビデオ出力

お使いのテレビの映像信号に合わせて、NTSCまたはPALを選択します。海外でテレビに接続して再生するときに、設定を合わせてください。［ビデオ出力］はAVケーブルを接続する前に設定を変更してください。間違った映像（ビデオ）信号を選択すると、テレビで画像が正しく再生できません。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［ビデオ出力］▶［NTSC］／［PAL］

☞「メニュー」（P.13）

- アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［ビデオ出力］▶［NTSC］／［PAL］

ヒント

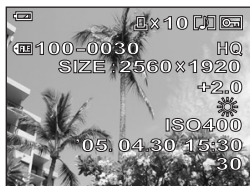
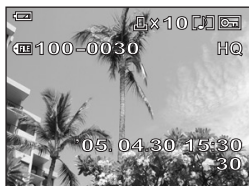
- **主な国と地域のテレビ映像信号**

  カメラをテレビに接続する前に、あらかじめご確認ください。
  NTSC　日本、北米、台湾、韓国
  PAL　ヨーロッパ諸国、中国、アジア地域

情報表示

撮影した画像の詳細情報を約3秒間表示します。表示される情報の内容については、「液晶モニタの表示」（P.157）を参照してください。

トップメニュー ▶ ［モードメニュー］ ▶ ［再生］ ▶ ［情報表示］ ▶ ［オフ］／［オン］

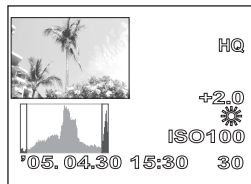
☞「メニュー」（P.13）

情報表示オンの時

情報表示オフの時

ご注意

- このカメラ以外で撮影した画像は、▶ モードで情報表示オン時でも、日時、コマ番号、電池残量表示以外は表示されません。
- ヒストグラム表示が設定されているときは、情報表示オン／オフにかかわらずヒストグラムが表示されます。

ヒストグラム表示

静止画再生時に画像の輝度成分をグラフ化してヒストグラム表示します。ヒストグラム表示は、撮影モードと再生モードで別々に設定することができます。☞「ヒストグラム表示」（P.45）

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［再生］▶［ヒストグラム表示］▶［オフ］／［オン］
☞「メニュー」（P.13）

ヒストグラム表示画面

ご注意

- 撮影時に表示されたヒストグラムは、再生時に表示されるものとは異なることがあります。
- 他のカメラで撮影した画像は、ヒストグラムが表示できないことがあります。

画像を保護する

残しておきたい大切な画像は、プロテクト（保護）を設定してください。プロテクトされた画像は消去できませんが、フォーマットを行うとすべて消去されます。
プロテクトをかけたい画像を選択してトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［再生］▶［プロテクト］▶［オフ］／［オン］

☞「メニュー」（P.13）

- アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［プロテクト］▶［オフ］／［オン］

- プロテクトを解除するには、［オフ］を選択してⓄを押します。

プロテクトされると表示されます。

画像を消去する

撮影した画像を消去します。再生している1コマのみを消去する1コマ消去とカード内のすべての画像を消去する全コマ消去があります。

ご注意

- 消去したい画像がプロテクトされている場合は消去できません。画像のプロテクトを解除してから消去してください。
- 消去した画像は元に戻せません。消去する前に、大切なデータを消さないように十分に注意してください。☞「画像を保護する」（P.82）

1コマ消去

消去したい画像を選択してトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［1コマ消去］

☞「メニュー」（P.13）

1 ［消去］を選択し、Ⓞを押します。

- 画像が消去され、メニューが終了します。
- 1コマ消去をやめるときは［中止］を選択してⓄを押します。

1コマ消去
消　去
中　止
選択 決定 OK

全コマ消去

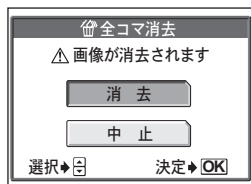
カード内のすべての画像を消去します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カード］▶［全コマ消去］

☞「メニュー」（P.13）

1 ［消去］を選択し、Ⓞを押します。

- すべての画像が消去されます。

全コマ消去
⚠ 画像が消去されます
消　去
中　止
選択 決定 OK

フォーマット

カードをフォーマットします。フォーマットとは、カードをこのカメラで書き込みできるように初期化することです。当社製以外のカードやパソコンでフォーマットしたカードを使用する場合は、必ずこのカメラでフォーマットしてください。

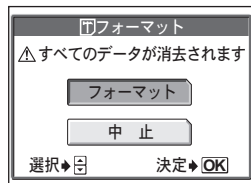
フォーマットするとプロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。すでに使用しているカードをフォーマットするときは大切なデータが記録されていないことを確認してください。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [カード] ▶ [フォーマット]

「メニュー」（P.13）

1 [フォーマット] を選択し、OKを押します。

- 画面に処理中のバーが表示され、フォーマットされます。

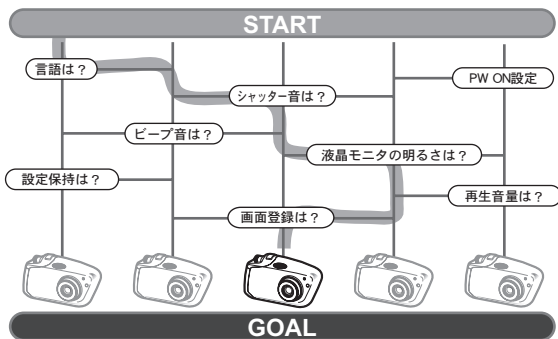
フォーマット
すべてのデータが消去されます
フォーマット
中 止
選択 決定 OK

ご注意

- フォーマット中は絶対に次のことをしないでください。カードが使用できなくなるおそれがあります。

  電池/コネクタカバーを開ける／電池を取り外す／ACアダプタの抜き差しをする（カメラに電池が入っている、いないにかかわらず絶対にしないでください。）

設定

7

撮ってすぐ見る、これがデジタルカメラの大きな特徴であり、便利なところです。
でも、デジタルカメラの便利さはそれだけではありません。カメラを“自分仕様”にカスタマイズすることができる、これもデジタルカメラならではの特徴です。
たとえば、電源を ON にすると自分が撮影した画像が起動画面として表示される…。オリジナル感いっぱいです。
海外の友人が使うときは、言語を切り換えてあげてください。
これらの機能を活用するかどうかで、ぐーんと使い勝手が違ってくるはず。ぜひ試してみてください。

外見は同じでも“あなただけのカメラ”が完成！

設定保持

電源を切った後も、変更した設定値を保持するかどうか選択します。設定保持が適用される機能については下の表を参照してください。
設定保持の［しない］［する］の設定は、すべてのモードで共通です。いずれかのモードで設定保持を［する］に設定すると、撮影モード、再生モードにかかわらず、適用されます。

しない　電源を切ると変更した設定値は初期設定に戻ります。（初期状態）
例：［画質モード］を［SQ1］に変更しても［設定保持］が［しない］に設定されていると、電源を入れ直したときに初期設定のHQに戻ります。

する　電源を切っても変更した設定値は保持されます。
ただし［Pオート］以外の撮影シーンでは、それぞれの初期設定に戻ります。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［設定保持］▶［する］／［しない］
☞「メニュー」（P.13）

ご注意

- モードメニューの設定タブの機能（設定保持、言語設定、ビープ音など）は、設定保持が［しない］に設定されていても初期設定に戻りません。

●［設定保持：しない］で設定が元に戻る機能とその設定

機能名	初期設定	参照頁	機能名	初期設定	参照頁
フラッシュ	オート発光	P.36	AF方式	スポット	P.40
マクロ、スーパーマクロ	マクロオフ	P.34	スチル録音	オフ	P.55
測光	ESP	P.41	ヒストグラム表示（撮影モード）	オフ	P.45
ドライブ	単写	P.50	露出補正	0.0	P.43
ISO感度	オート	P.42	画質モード	HQ	P.23
デジタルズーム	オフ	P.33	ホワイトバランス	オート	P.44

言語切換

液晶モニタのメニュー表示やエラーメッセージを日本語でなく、他の言語にすることができます。日本語に戻すこともできます。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [設定] ▶ [ ]

☞「メニュー」(P.13)

1 表示したい言語を選択し、 を押します。

日本語
ENGLISH
選択 決定 OK

ヒント

- OLYMPUS Masterを使って表示する言語を増やすことができます。詳しくはOLMPUS Masterのヘルプをご覧ください。

PW ON設定

電源を入れたときに表示される画面と音量をそれぞれ設定します。自分で画像を登録して設定することもできます。☞「画面登録」(P.89)

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［PW ON設定］

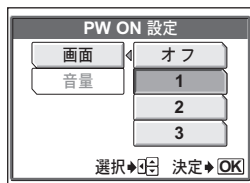
☞「メニュー」(P.13)

1 ［画面］を［オフ］［1］［2］［3］から選択し、◁を押します。

オフ 画面表示なし

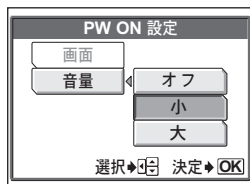
1／2 画面表示あり

3 登録した画像。登録されていないと、何も表示されません。

PW ON 設定
画面 ◁ オフ
音量 1
2
3
選択 決定 OK

2 ［音量］を［オフ］［小］［大］から選択し、◁を押します。

オフ 無音

小／大 音あり

PW ON 設定
画面
音量 ◁ オフ
小
大
選択 決定 OK

3 ㊝を押します。

ご注意

- ［画面］を［オフ］に設定した場合は、［音量］の設定はできません。

画面登録

電源を入れたときに表示される画面を登録します。カードに保存されている画像を登録します。登録した画面を表示するときは［PW ON設定］を行います。☞「PW ON設定」（P.88）

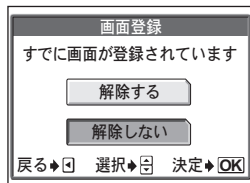
トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［画面登録］

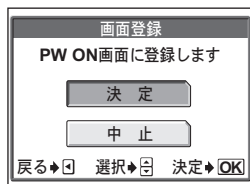
☞「メニュー」（P.13）

- すでに画像が登録されている場合は、登録済みの画像を解除して新たに画像を登録するかどうか確認するメッセージが表示されます。画面を登録する場合は［解除する］を選択し、OKを押します。［解除しない］を選ぶとメニューに戻ります。

画面登録
すでに画面が登録されています
解除する
解除しない
戻る◆◀ 選択◆▲▼ 決定◆OK

1 登録する画像を選択し、OKを押します。

2 ［決定］を選択し、OKを押します。

- 画面登録され、メニューに戻ります。

画面登録
PW ON画面に登録します
決　定
中　止
戻る◆◀ 選択◆▲▼ 決定◆OK

ヒント

- ここで登録された画面は、［PW ON設定］の［3］に登録されます。

ご注意

- このカメラで正しく再生できない画像およびムービーコマは、画面登録できません。

7 設定

画面配色設定

液晶モニタに表示される設定画面の色をの4パターンから選択することができます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［画面配色設定］▶［標準］／［ソフィア］／［ナチュラル］／［フューチャー］ ☞「メニュー」（P.13）

再生音量

静止画の音声メモやムービー再生時の音量を設定します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［再生音量］▶［オフ］／［小］／［大］ ☞「メニュー」（P.13）

- アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［再生音量］▶［オフ］／［小］／［大］

ビープ音

カメラが発する音の音量を［小］［大］から選択できます。音を消す場合は［オフ］に設定してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［ビープ音］▶［オフ］／［小］／［大］ ☞「メニュー」（P.13）

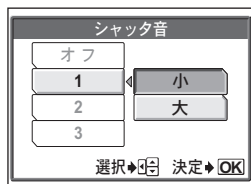
シャッター音

シャッターボタンを押して撮影したときに発するシャッター音の音色を3種類から選びます。さらに、それぞれの音量を［小］［大］から選択できます。音を消す場合は［オフ］に設定してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［シャッタ音］

☞「メニュー」（P.13）

1 ［オフ］［1］［2］［3］から選択します。［1］［2］［3］の場合は、さらに［小］または［大］を選択して㊫を押します。

シャッタ音
オフ
1 小
2 大
3
選択 決定 OK

レックビュー

撮影した直後に画像を液晶モニタに表示するかどうか設定します。

オン 撮影した画像をカードに記録中に表示します。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。レックビュー中でもすぐに次の撮影に入れます。

オフ 記録中の画像は表示されません。次の撮影のために被写体を追いながら撮影する場合に便利です。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［レックビュー］▶［オフ］／［オン］

☞「メニュー」（P.13）

ご注意

- 連写モードでは、レックビュー表示されません。

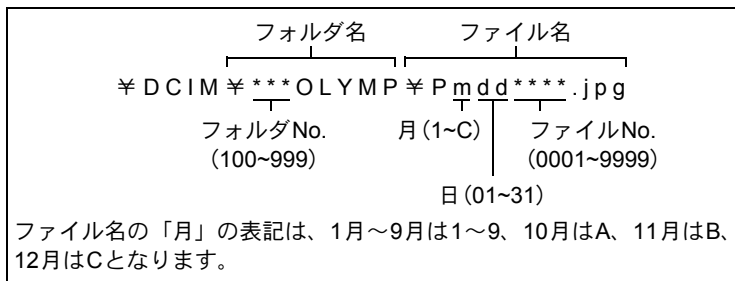
ファイル名メモリー

記録される画像には、ファイル名とそのファイルが入るフォルダ名がカメラ内部で自動的に生成されます。ファイル名とフォルダ名はそれぞれファイル№.（0001~9999）、フォルダ№.（100~999）を含み、以下のように付けられます。

フォルダ名　ファイル名

￥DCIM￥***OLYMP￥Pmdd****.jpg

フォルダNo.（100~999）
月（1~C）
日（01~31）
ファイルNo.（0001~9999）

ファイル名の「月」の表記は、1月～9月は1～9、10月はA、11月はB、12月はCとなります。

フォルダ№.とファイル№.の付け方は、［リセット］［オート］の2種類あります。パソコンで画像を取り込む際に、扱いやすい方をお選びください。

リセット　カードを入れ換えたときにフォルダ№.、ファイル№.が両方ともリセットされます。フォルダ№.は「№.100」に、ファイル№.は「№.0001」に戻ります。カード別に画像を管理するときに便利です。

オート　カードを入れ換えても、フォルダ№.、ファイル№.とも前のカードから継続されます。複数のカードを管理するときでも、ファイル名が重複することがありません。すべての画像を通し番号で管理するのに便利です。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［ファイル名メモリー］▶［リセット］／［オート］

☞「メニュー」（P.13）

ご注意

- ファイル№.が9999を超えるとファイル№.は0001に戻り、フォルダ№.が変わります。
- 最大のフォルダ№.999、ファイル№.9999に達すると、カードに残量があっても撮影可能枚数が0になり撮影できません。新しいカードに取り換えてください。

ピクセルマッピング

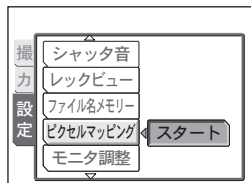
CCDと画像処理機能のチェックを同時に行います。この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。調整は、年に一度を目安とし、最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けて実行します。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [設定] ▶ [ピクセルマッピング]

☞「メニュー」(P.13)

1 ▷を押して [スタート] が表示されたら、Ⓞを押します。

- ピクセルマッピング実行中のバーが表示されます。終了するとモードメニューに戻ります。

撮
カ
設定
シャッタ音
レックビュー
ファイル名メモリー
ピクセルマッピング
スタート
モニタ調整

ご注意

- 処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

モニタ調整

液晶モニタの明るさを見やすいように調整します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［モニタ調整］

☞「メニュー」（P.13）

• アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［モニタ調整］

1 液晶モニタを見ながら明るさを調整し、設定が決まったら OK を押します。

• △ を押すと明るくなり、▽ を押すと暗くなります。

モニタ調整
選択 決定 OK

日時設定

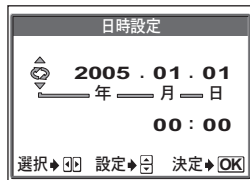
日付・時刻を設定します。日時の情報は画像とともに記録され、日時の情報をもとにファイル名が付けられます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［設定］▶［日時設定］

☞「メニュー」（P.13）

1 日付の順序を、［年-月-日］、［月-日-年］、［日-月-年］から選択し、▷を押します。

- 年の設定に移動します。
- 以下の画面は［年-月-日］に設定した場合です。

日時設定
2005 . 01 . 01
年 ― 月 ― 日
00 : 00
選択 設定 決定 OK

2 ［年］を△▽を押して設定し、▷で次の項にすすみます。

- ◁を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- ［年］の上2桁は固定されています。

日時設定
2005 . 01 . 01
00 : 00
選択 設定 決定 OK

3 同様の操作を繰り返し、時刻まで入力します。

- カメラの時間表示は24時間表示です。午後2時は14:00と表示されます。

4 OKを押します。

- 0秒の時報に合わせてOKを押すと、正確に時間を合わせられます。

ご注意

- 電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります（当社試験条件による）。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には、日時の設定が正しいことを確認してください。
- 日時設定が解除されると、カメラの電源を入れたときに液晶モニタに警告画面が表示されます。☞「エラーコード」（P.130）

プリントする

8

撮影した画像をプリントしましょう。
お店でプリントする方法と、自分でプリンタを使ってプリントする方法があります。
お店でプリントする時は、カードにプリント予約をしておくと便利です。プリント予約は、あらかじめプリントする画像や枚数をカードに設定しておく方法です。
自分でプリントする時は、デジタルカメラを専用プリンタに直接接続して印刷する方法（ダイレクトプリント）と、パソコンに取り込んでパソコンに接続されたプリンタで印刷する方法があります。

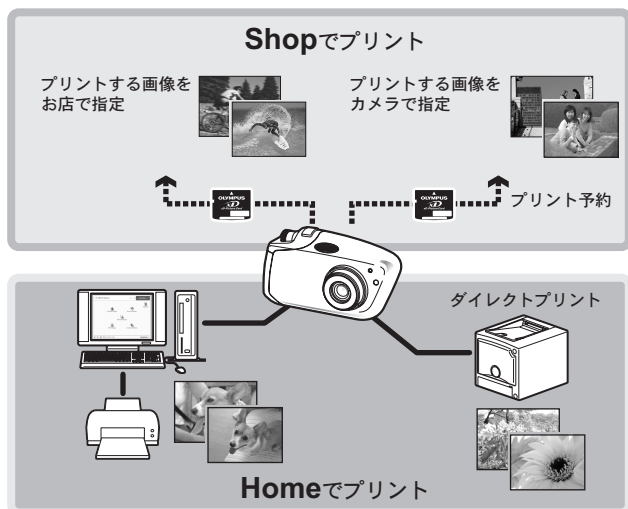
Shopでプリント

プリントする画像をお店で指定

プリントする画像をカメラで指定

プリント予約

ダイレクトプリント

Homeでプリント

ダイレクトプリント（PictBridge）

ダイレクトプリントについて

カメラをPictBridge対応プリンタにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数の設定は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラの液晶モニタを見ながら操作します。また、プリント予約の設定内容を使って、プリントすることもできます。☞「プリント予約（DPOF）」（P.107）
お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でお確かめください。

PictBridgeとは…異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

標準設定とは…PictBridge対応プリンタには、それぞれプリント条件の標準設定があります。各設定画面（P.102～104）で［凸標準設定］を選択すると、この設定にしたがってプリントされます。標準設定の内容については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧になるか、プリンタメーカーにおたずねください。

? ヒント

- プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

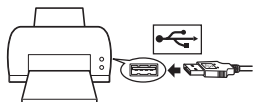
! ご注意

- 電源にはACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。電池をご使用の場合は、十分に充電された電池をお使いください。プリンタと通信中にカメラが動作を停止すると、プリンタが誤動作したり、画像データを壊すことがあります。
- USB ケーブルを取り付けているときは、カメラはスリープモード（待機状態）になりません。
- ムービーはプリントできません。

カメラをプリンタに接続する

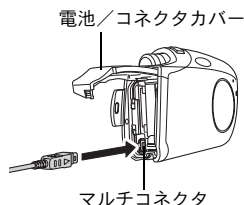
付属のUSBケーブルで、カメラをPictBridge対応プリンタに接続します。

1 プリンタの電源を入れて、プリンタのUSBポートに、カメラに付属のUSBケーブルを差し込みます。

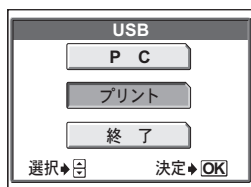
- プリンタの電源の入れ方およびUSB端子の位置は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

2 付属のUSBケーブルをカメラのマルチコネクタに差し込みます。

- カメラの液晶モニタが点灯し、USBケーブルの接続先の選択画面が表示されます。

電池／コネクタカバー

マルチコネクタ

3 ［プリント］を選択し、OKを押します。

- ［しばらくお待ちください］と表示された後、カメラとプリンタが接続されます。

USB
P C
プリント
終 了
選択 決定 OK

ご注意

- ［PC］を選択すると、次の画面は表示されません。USBケーブルを抜いて、手順1からやり直してください。
- ［終了］を選択すると、プリンタに接続されずカメラの電源が切れます。

4 ［全画像］または［アルバム選択］を選択し、OKを押します。

全画像	カード内のすべての画像から選択し、プリントします。
アルバム選択	アルバム登録された画像から選択し、プリントします。［アルバム選択］を選択した場合は、プリントモード選択画面で［予約プリント］を選択することはできません。

5 **手順 4 で［アルバム選択］を選択した場合は、プリントしたい画像があるアルバムを選択し、Ⓞを押します。**

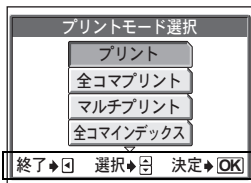
ヒント

- プリントの設定はカメラの液晶モニタを見ながら操作します。「プリントまでの操作の流れ」に進みます。

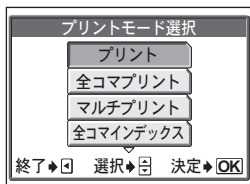
プリントまでの操作の流れ

カメラとプリンタが正しく接続できたら、プリントする画像を選んで予約したり、プリントしたい画像を表示して順にプリントします。
カメラの液晶モニタの表示を見ながら設定をすすめてください。

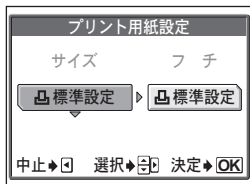
十字ボタンの◁▷△▽を押して設定する項目を選択します。

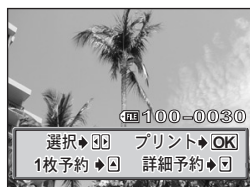
プリントモード選択
プリント
全コマプリント
マルチプリント
全コマインデックス
終了➧ 選択➧ 決定➧OK

この部分に表示されるガイドにしたがって操作を進めてください。

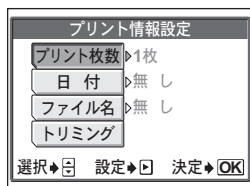
プリントモードを選びます。

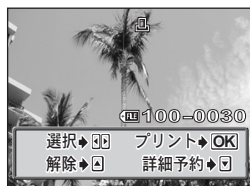
プリントモード選択
プリント
全コマプリント
マルチプリント
全コマインデックス
終了➧ 選択➧ 決定➧OK

1枚ずつ画像を選んでプリントするか、まとめてプリントするなどを選びます。☞P.102

用紙の設定をします。

プリント用紙設定
サイズ　フチ
標準設定　標準設定
中止➧ 選択➧ 決定➧OK

プリンタの設定に合わせて用紙の設定をしたり、フチのあるプリントにするかを選びます。

プリントする画像を選びます。

プリントしたい画像を表示します。表示している画像をすぐプリントするか、その画像のプリントする予約をして同時にプリントする他の画像を選択することができます。

プリントする情報を設定します。

プリントする枚数、画像に記録されている日付情報やファイル名を同時にプリントするかどうか設定します。画像をトリミングしてプリントする設定もできます。

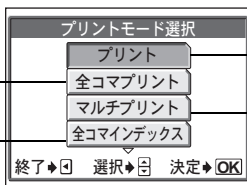
プリントします。

予約した画像をプリントします。

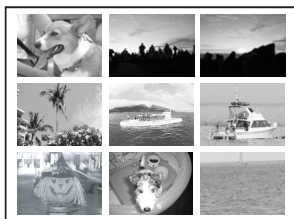
プリントモードを選択する

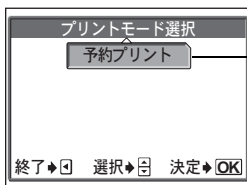
プリントの種類（プリントモード）を選びます。1枚ずつプリントするか、1枚の用紙に複数の画像をプリントするなどの選択ができます。

十字ボタンの△▽を押して設定する項目を選択します。

プリントモード選択画面

プリントモード選択
プリント
全コマプリント
マルチプリント
全コマインデックス
終了 選択 決定 OK

- プリント：選択した画像をプリントします。
- 全コマプリント：カード内の全画像を1枚ずつプリントします。
- マルチプリント：同じ画像を1枚の用紙に複数プリントします。
- 全コマインデックス：カード内の全画像を一覧にしてプリントします。

［全コマインデックス］の例

［マルチプリント］の例

プリントモード選択
予約プリント
終了 選択 決定 OK

- 予約プリント：あらかじめプリント予約した内容でプリントします。プリント予約された画像がないと、選択できません。☞P.107

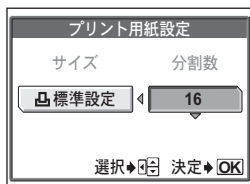
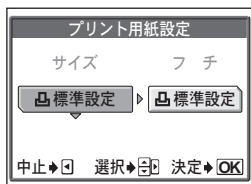
プリントモードや各設定の内容について

使用できるプリントモードや用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって選択できる項目が異なる場合があります。詳しくはプリンタの取扱説明書をお読みください。

用紙を設定する

この設定内容は、お使いのプリンタによって選択肢が異なります。プリンタ標準の設定しか使えない場合は、設定を変更することができません。

プリント用紙設定
サイズ　フチ
標準設定　標準設定
中止　選択　決定 OK

プリント用紙設定
サイズ　分割数
標準設定　16
選択　決定 OK

サイズ　プリンタで用意されている用紙に合わせます。

フチ　用紙いっぱいにプリントするか、フチをつけてプリントするかを選択します。

分割数　同じ画像を 1 枚の用紙に何枚プリントするかを選択します。プリントモードで［マルチプリント］を選択したとき、この設定項目が表示されます。

プリントする画像を選ぶ

プリントする画像を選びます。選んだ画像をあとでまとめてプリント（1枚予約）したり、表示している画像をプリントすることができます。

100–0030
選択　プリント OK
1枚予約　詳細予約

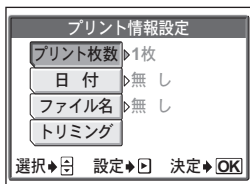
プリント（OK）　表示している画像をプリントします。［1枚予約］をした画像が1枚でもあると、予約されてる画像のみプリントされます。

1枚予約（△）　表示している画像をプリントする予約をします。他に予約したい画像があるときは、◁▷を押して選んでください。

詳細予約（▽）　表示している画像のプリントする枚数や情報を、プリントするかどうかを設定します。☞「プリントする情報を設定する」（P.104）

プリントする情報を設定する

画像をプリントする際に、日付やファイル名の情報を同時にプリントするかどうかを設定します。

プリント情報設定
プリント枚数 ▷1枚
日 付 ▷無 し
ファイル名 ▷無 し
トリミング
選択➡ 設定➡ 決定➡OK

プリント枚数 プリントする枚数を設定します。

日付 画像に記録されている日付情報を同時にプリントします。

ファイル名 画像に記録されているファイル名を同時にプリントします。

トリミング 画像の一部を拡大してプリントします。

トリミングを設定する

画像の一部分をトリミングしてプリントできます。小さくトリミングした場合、プリントする際拡大されるのでプリントが粗くなる場合があります。

➡WT 決定➡OK

△▽◁▷を押してトリミングする位置を移動します。

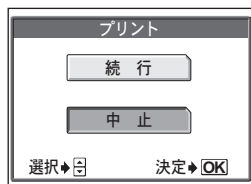
ズームボタンのW側またはT側を押して、トリミングサイズを決めます。

プリントする

プリント
プリント
中 止
戻る➡ 選択➡ 決定➡OK

プリントする画像や内容が決まったらプリントします。

プリント プリンタへプリントする画像のデータを転送します。

中止 プリントを中止します。設定してある予約などはすべて失われます。予約した内容を残して続けて予約や設定をしたいときは、◁を押します。一つ前の設定に戻ります。

プリント
続　行
中　止
選択 ➡ ⇕　決定 ➡ OK

プリントを始めてから途中で停止したいときは、Ⓞを押します。

続行　プリントを続行します。

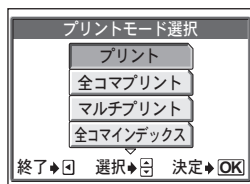
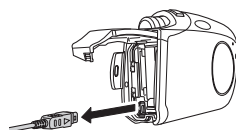
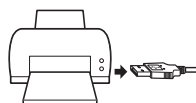
中止　プリントを停止します。設定した予約はすべて失われます。

ダイレクトプリントを終了する

プリントが終了したら、カメラをプリンタから取り外します。

1　**プリントモード選択画面で、◁を押します。**

- ［USBケーブルを抜いてください］というメッセージが表示されます。

プリントモード選択
プリント
全コマプリント
マルチプリント
全コマインデックス
終了 ➡ ◁　選択 ➡ ⇕　決定 ➡ OK

2　**カメラからUSBケーブルを抜きます。**

3　**プリンタからUSBケーブルを抜きます。**

エラーコードが表示されたときは

ダイレクトプリント設定中およびプリント中にカメラの液晶モニタにエラーコードが表示されたときは、以下のように対応してください。
対処方法については、お使いのプリンタの取扱説明書もご覧ください。

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
接続されていません	カメラがプリンタに正しく接続されていません。	カメラとプリンタを正しく接続し直してください。
用紙がありません	用紙切れです。	用紙をプリンタに補充してください。
インクがありません	インク切れです。	インクをプリンタに補充してください。
紙づまりです	用紙が詰まっています。	詰まった用紙を取り除いてください。
プリンタの設定が変更されました	プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした。	プリントの設定中には、プリンタの操作はしないでください。
プリンタエラーです	エラーが発生しました。	カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してから再度電源を入れ直してください。
この画像はプリントできません	他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。	パソコンなどを使ってプリントしてください。

ヒント

- その他のエラーコードが表示されたときは、「エラーコード」（P.130）をご確認ください。

プリント予約（DPOF）

プリント予約とは

プリント予約とは、カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。
プリント予約をすると、DPOF対応のプリンタやDPOF対応のプリントショップで簡単にプリントすることができます。DPOFとは、デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するための規格です。プリントショップや家庭でのプリントアウトで自動プリントが可能なように、プリントしたい画像や枚数などの指定をカードに記録します。

プリント予約した画像は以下の方法でプリントできます。

DPOF対応のプリントショップでプリントする

予約されている内容にしたがってプリントできます。

DPOF対応のプリンタでプリントする

パソコンを使わずに、専用プリンタから直接プリントできます。詳しくはお使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。PCカードアダプタが必要な場合もあります。

DPOFを使用せずにプリントサービスを利用される方へ

プリントショップなどのプリントサービスをご利用になる場合は、プリントする画像は必ずファイル番号で指定してください。コマ番号で指定すると間違った画像がプリントされる場合があります。

（例）　FILE 100–0030

フォルダの通し番号　画像の通し番号

ファイル番号

ヒント

撮影時の画質モードとプリントの関係

パソコンやプリンタの解像度には一般的に1インチあたりの点（ピクセル）の数が用いられ、dpi（dot per inch）で示されます。同じ画像をプリントしても、プリント時のdpiの値を大きくすることでより鮮明に印刷することができますが、撮影された画像のピクセル数は変わらないため、実際に印刷されるサイズは小さくなります。その画像を拡大してプリントすることもできますが、画質は粗くなります。
プリントすることを前提として撮影するときや、大きいサイズでプリントしたいときは、撮影時の画質モードをできるだけ高いものに設定することをおすすめします。☞「画質について」（P.23）

ご注意

- 他の DPOF 機器で設定された DPOF 予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。
- 他の機器で DPOF 予約されているファイルがある場合、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、以前に予約した内容は消去されます。
- カードに空き容量が少ないと予約できない場合があります。[カード残量がありません］と表示されます。
- DPOF予約で予約できる枚数は、1枚のカードにつき999枚までです。
- ［この画像は再生できません］と表示される画像でも、プリント予約を設定できることがあります。その場合、1 コマ再生だとプリント予約マーク（凸）は表示されません。複数の画像を表示（インデックス表示）しているときは、凸マークが表示され、プリント予約を確認できます。
- プリンタまたはプリントショップにより、一部機能が制限されることがあります。
- プリント予約は、カードに予約を記録するときに時間がかかることがあります。

プリント予約設定の流れ

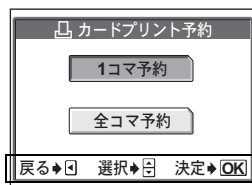
プリント予約には、選択した画像のみプリント予約する［1コマ予約］と、カード内の全画像をプリント予約する［全コマ予約］があります。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［再生］▶［プリント予約］

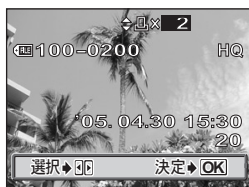
☞「メニュー」（P.13）

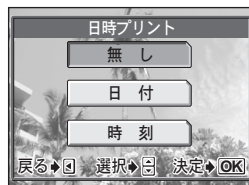
- アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［プリント予約］

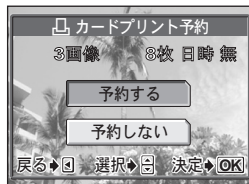
プリント予約モードを選びます。

凸 カードプリント予約
1コマ予約
全コマ予約
戻る◆◁　選択◆⇕　決定◆OK

選択した画像のみをプリント予約するか、カード内の全画像をプリント予約するかを選びます。
☞「プリント予約モードを選ぶ」（P.109）

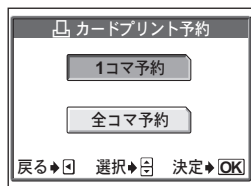
この部分に表示されるガイドにしたがって操作を進めてください。

プリントする画像を選びます。

プリントする画像を選択して、枚数を設定します。［全コマ予約］を選択したときは、プリント枚数は1枚のみでこの設定はありません。

プリントする情報を設定します。

予約した画像のみをプリントするか、撮影日または撮影時刻を一緒にプリントするかを選びます。

プリント予約を確定します。

カード内の画像にプリント枚数などの情報が記憶されます。

プリント予約モードを選ぶ

プリント予約モードには、［1コマ予約］と［全コマ予約］があります。

1コマ予約　選択した画像のみをプリント予約します。

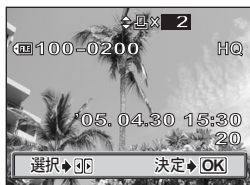
全コマ予約　カード内の全画像を1枚ずつプリント予約します。

すでにプリント予約した画像がある場合

その予約設定を残すか解除するかを選択する画面が表示されます。

☞「プリント予約を解除する」（P.111）

プリントする画像を選ぶ

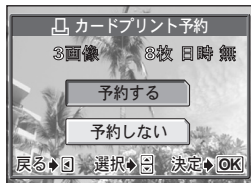
選択した画像のみをプリント予約します。プリントする画像を表示してプリント枚数を設定します。プリント枚数は10枚まで設定できます。プリント枚数が0のときはプリント予約がされていません。

◁▷ プリント予約する画像を選択します。
△▽ プリント枚数を設定します。

プリントする情報を設定する

プリント予約を設定した画像に、撮影した日付や時刻を一緒にプリントすることができます。

無し 画像のみがプリントされます。
日付 すべての画像に撮影年月日がプリントされます。
時刻 すべての画像に撮影時刻がプリントされます。

プリント予約を確定する

設定したプリント予約を確定するか、中止するかを選択します。

予約する プリント予約の設定を確定します。
予約しない 予約を中止します。設定してある予約はすべて失われます。◁を押すと一つ前の設定に戻ります。

ヒント

全コマ予約の前に行なった1コマ予約はどうなるか？
→1コマ予約されている画像はすべて1枚ずつの設定になります。

全コマ予約を設定した後に撮影された画像はどうなるか？
→後から撮影した画像には予約がされていません。全コマ予約を行ってください。

プリント予約を解除する

プリント予約を解除します。すべてのプリント予約を解除する方法と選んだ画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［再生］▶［プリント予約］

☞「メニュー」（P.13）

- アルバム再生モードの場合：トップメニュー ▶［アルバムメニュー］▶［プリント予約］

●すべての予約の解除

1 ［解除する］を選択し、OKを押します。

2 ◁を押して再生メニューに戻ります。

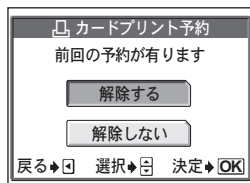
- OKを押してメニューを終了します。

カードプリント予約
前回の予約が有ります
解除する
解除しない
戻る◀ 選択◆ 決定OK

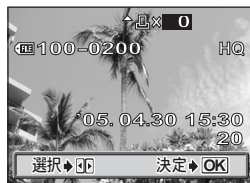
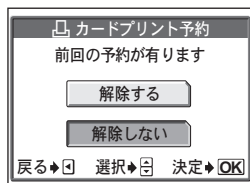
●1コマ予約の解除

1 ［解除しない］を選択し、OKを押します。

2 ［1コマ予約］を選択し、OKを押します。

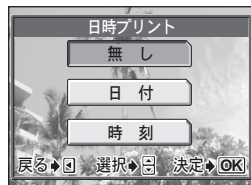
カードプリント予約
前回の予約が有ります
解除する
解除しない
戻る◀ 選択◆ 決定OK

3 ◁▷でプリント予約を解除したい画像を表示させ、△▽でプリント枚数を0にします。

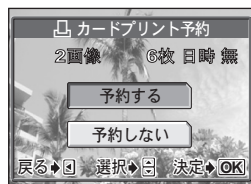
- 他にも解除する画像があるときは、これを繰り返します。

×0
100–0200 HQ
'05. 04.30 15:30
20
選択◀▶ 決定OK

8 プリントする

4　終わったら、OKを押します。

5　［無し］または［日付］［時刻］を選択し、OKを押します。

- 残ったプリント予約されている画像に、選択した設定が適用されます。

6　［予約する］を選択し、OKを押します。

- 設定が記録されます。
- もう一度OKを押すとメニューが終了します。

パソコン接続

9

撮影した画像をパソコンで利用してみましょう。
お好みの画像を選んでプリントするだけではありません。アプリケーションソフトを使って取り込んだ画像を日付別、目的別などに整理する、画像を編集・加工する、さらにインターネットを利用し、メールに画像を添付して送るなど、カメラの楽しみがどんどん広がります。
パソコンならではの画像の表示方法もありますね。スライドショーやカメラアルバムを作ったり、デスクトップの壁紙にして楽しんだりできます。

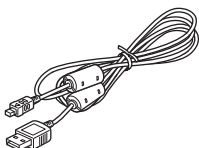
画像を取り込む

みんなで楽しむ
メール送信

プリントする
ホームプリント
オンラインプリント

編集、加工する
パノラマ合成
アルバム作成
壁紙

操作の流れ

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続して、カメラのカードに保存されている画像を付属のOLYMPUS Masterを使ってパソコンに取り込みます。以下のものを準備して操作をはじめてください。

OLYMPUS Master CD-ROM　USBケーブル　USBポートを装備したパソコン

OLYMPUS Masterをインストールする ☞P.116

↓

付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続する ☞P.119

↓

OLYMPUS Masterを起動する ☞P.121

↓

画像をパソコンに保存する ☞P.123

↓

カメラをパソコンから取り外す ☞P.124

ヒント

パソコンに取り込んだ画像を活用するには

→ グラフィックソフトを使用して画像を処理する場合は、必ずパソコンに取り込んでから行ってください。ソフトウェアによってはファイル（画像）がカードの中にある状態で画像処理（画像の回転など）を行うと、ファイルが壊れる可能性があります。

USB接続でカメラのデータを取り込めないとき

→ PCカードアダプタ（別売）をお使いいただくと画像を取り込める場合もあります。詳しくは裏表紙に記載の「ホームページによる情報提供について」をご参照ください。

ご注意

- 電池をご使用の場合は残量をご確認ください。カメラをパソコンに接続して使用するときは、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。パソコンとの接続中（通信中）は、自動的に電源が切れません。電池の残量がなくなると、カメラは途中で動作を停止します。カメラが動作を停止すると、パソコンが誤動作したり、パソコンとカメラの通信中の場合は画像データ（ファイル）を壊すことがあります。
- 誤動作の原因になりますので、パソコンとの接続中は絶対に電池／コネクタカバーを開けたり、ACアダプタの抜き差しをしないでください。
- USB ハブを経由してカメラを接続すると、ハブとパソコン間の相性によって動作が不安定になることがあります。この場合は、ハブを使用しないでパソコンとカメラを直接接続してください。

付属のOLYMPUS Masterを使う

画像の編集・管理を行うために付属のCD-ROMからOLYMPUS Masterをインストールしましょう。

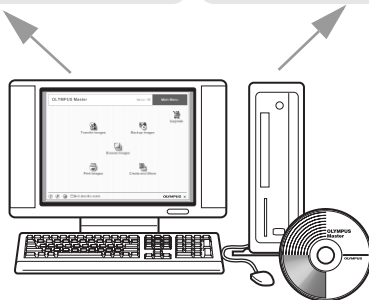
OLYMPUS Masterとは

OLYMPUS Masterはデジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむためのアプリケーションソフトウェアです。パソコンにインストールすると、以下のようなことができます。

カメラやメディアから画像を取り込む

画像を整理・管理する
カレンダー形式で表示して画像を管理します。撮影日時やキーワードから、目的の画像をすばやくみつけることができます。

画像を見る・ムービーを見る
スライドショーを楽しんだり、サウンドを再生することもできます。

画像を編集する
画像の回転や反転、トリミング、サイズ変更などの編集ができます。

フィルタ機能、補正機能で画像を補正する

パノラマ写真を作る
パノラマモードで撮った画像を使ってパノラマ写真を作成します。

プリンタを使ってプリントする
インデックスプリントやカレンダー、ポストカードなど多彩なプリントが楽しめます。

上記以外の機能や操作方法については、OLYMPUS Masterの「ヘルプ」および取扱説明書をご覧ください。

OLYMPUS Masterをインストールする

お使いのパソコンのOSをご確認の上、インストールしてください。
新しいOSへの対応についてはオリンパスホームページ(http://www.olympus.co.jp)でご確認ください。

●動作環境について

Windows

OS	Windows 98SE/Me/2000 Professional/XP
CPU	Pentium III 500MHz以上
RAM	128MB以上（256MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ドット以上、65,536色以上

ご注意

- OSがプレインストールされているパソコンのみ、動作対象となります。
- Windows 2000 Professional/XPでインストールする場合は、管理者権限を所有するユーザーでログオンしてください。
- QuickTime 6以上、Internet Explorerがインストールされている必要があります。
- Windows XPは、Windows XP Professional/Home Editionに対応しています。
- Windows 2000は、Windows 2000 Professionalにのみ対応しています。
- Windows 98SEをお使いの場合、USBドライバが自動的にインストールされます。

Macintosh

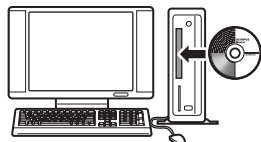
OS	Mac OS X 10.2以降
CPU	Power PC G3 500MHz以上
RAM	128MB以上（256MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ドット以上、32,000色以上

ご注意

- USBポートが標準装備されていないMacintoshでは、パソコンとカメラをUSB接続した場合の動作を保証いたしません。
- QuickTime 6以上、Safari 1.0以上がインストールされている必要があります。
- 次の操作を行う時は、必ずメディアを取り出す手順（ゴミ箱にドラッグ＆ドロップ）を先に行ってください。この手順を行わずに操作すると、パソコン動作が不安定になり、再起動が必要となる場合があります。
  - カメラとパソコンの接続ケーブルを抜く
  - カメラの電源を切る
  - カメラの電池／コネクタカバーを開ける

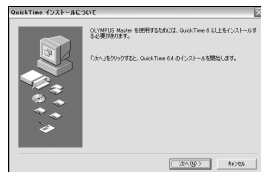
Windowsの場合

1 CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。

- OLYMPUS Masterセットアップ画面が表示されます。
- 表示されない場合は、「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、CD-ROM アイコンをクリックしてください。

2 「OLYMPUS Master」ボタンをクリックします。

- QuickTime インストール用の画面が表示されます。
- QuickTimeはOLYMPUS Masterを動作させるために必要です。すでにQuickTime 6以上がインストールされている場合は表示されません。手順4に進んでください。

3 「次へ」ボタンをクリックし、画面のメッセージに沿って操作を行います。

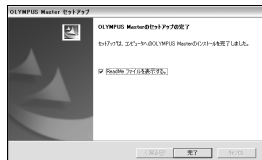
- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「同意します」ボタンをクリックします。
- OLYMPUS Masterインストール用の画面が表示されます。

4 画面のメッセージにしたがって操作を行います。

- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「はい」ボタンをクリックします。
- 途中、ユーザー情報入力画面が表示されたら、「名前」「OLYMPUS Masterシリアル番号」を入力し、お住まいの地域を選択して「次へ」ボタンをクリックします。シリアル番号はCD-ROMのパッケージに貼ってあるシールをご覧ください。
- 途中、DirectXの使用許諾画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「はい」ボタンをクリックします。
- Adobe Readerをインストールするかどうか確認する画面が表示されます。Adobe ReaderはOLYMPUS Masterの取扱説明書を見るために必要です。すでにAdobe Readerがインストールされている場合は表示されません。

5 Adobe Readerをインストールする場合は「OK」ボタンをクリックします。

- インストールしない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。
- Adobe Readerインストール用の画面が表示されます。画面のメッセージに沿って操作を行ってください。
- 続いて、蔵衛門体験版のインストールを行うかどうか確認する画面が表示されます。蔵衛門体験版をインストールする場合は「はい」ボタンをクリックします。

6 画面のメッセージにしたがって操作を行います。

- インストール完了画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。

7 再起動を求める画面が表示されたら、「今すぐコンピュータを再起動する」を選択して「OK」ボタンをクリックします。

- パソコンが再起動します。
- CD-ROMは、CD-ROMドライブから取り出して保管してください。

Macintoshの場合

1 **CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。**

- CD-ROMのウィンドウが表示されます。
- 表示されない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリックします。

OLYMPUS Master

2 **「インストーラ」アイコンをダブルクリックします。**

インストーラ

- OLYMPUS Masterのインストーラが起動します。
- 画面のメッセージに沿って操作を行ってください。
- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「続ける」ボタン、「同意します」ボタンをクリックします。
- インストール完了画面が表示されます。

3 **「終了」ボタンをクリックします。**

- 最初の画面に戻ります。

4 **「再起動」ボタンをクリックします。**

- パソコンが再起動します。
- CD-ROMは、CD-ROMドライブから取り出して保管してください。

カメラをパソコンに接続する

付属のUSBケーブルで、カメラをパソコンに接続します。

1 **パソコンのUSBポートに、カメラに付属のUSBケーブルを差し込みます。**

- USBポートの位置はお使いのパソコンの取扱説明書でご確認ください。

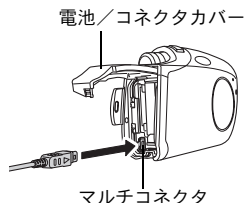
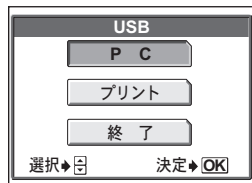
2 付属のUSBケーブルをカメラのマルチコネクタに差し込みます。

- カメラの液晶モニタが点灯し、USBケーブルの接続先の選択画面が表示されます。

電池／コネクタカバー

マルチコネクタ

3 [PC] を選択し、㊋を押します。

USB
P C
プリント
終 了
選択 決定 OK

4 パソコンがカメラを新しい機器として認識します。

- Windows 98SE/Me/2000の場合
  はじめてカメラとパソコンを接続したときは、パソコンがカメラを認識する動作を自動的に行います。設定終了のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてメッセージを終了してください。カメラは「リムーバブルディスク」として認識されます。
- Windows XPの場合
  パソコンに接続すると、画像ファイルの操作を選択する画面が表示されます。OLYMPUS Masterで画像を取り込みますので、「キャンセル」ボタンをクリックします。
- Mac OS Xの場合
  画像ファイルは通常iPhotoというアプリケーションで管理されます。はじめてカメラを接続するとiPhotoが起動しますので、iPhotoを終了させOLYMPUS Masterを起動してください。

ご注意

- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。

OLYMPUS Masterを起動する

Windowsの場合

1 **デスクトップの「OLYMPUS Master」アイコン をダブルクリックします。**

- メインメニューが表示されます。
- 最初の起動時、メインメニューの前にユーザー登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって必要な情報を入力してください。

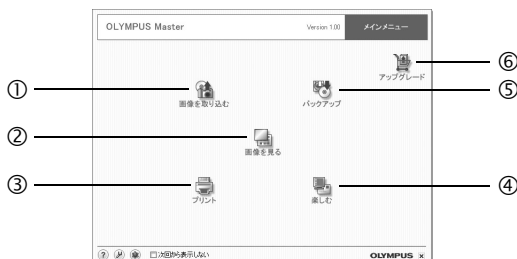
Macintoshの場合

1 **「OLYMPUS Master」フォルダ内の「OLYMPUS Master」アイコン をダブルクリックします。**

- メインメニューが表示されます。
- 最初の起動時、メインメニューの前にユーザー情報入力画面が表示されますので、「名前」「OLYMPUS Masterシリアル番号」を入力し、お住まいの地域を選択してください。
- ユーザー情報入力画面に続いて、ユーザー登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって必要な情報を入力してください。

9 パソコン接続

●OLYMPUS Masterのメインメニュー

OLYMPUS Master Version 1.00 メインメニュー
画像を取り込む バックアップ アップグレード 画像を見る プリント 楽しむ
次回から表示しない OLYMPUS

①**「画像を取り込む」ボタン**
画像をカメラまたはメディアから取り込みます。

②**「画像を見る」ボタン**
ブラウズウィンドウが表示されます。

③**「プリント」ボタン**
プリントメニューが表示されます。

④**「楽しむ」ボタン**
楽しむメニューが表示されます。

⑤**「バックアップ」ボタン**
画像をバックアップします。

⑥**「アップグレード」ボタン**
OLYMPUS Master Plusへアップグレードできるウィンドウが表示されます。

●OLYMPUS Masterを終了するには

1 メインメニューで「閉じる」ボタン をクリックします。

- OLYMPUS Masterが終了します。

カメラの画像をパソコンで表示する

取り込んで保存する

カメラの画像をパソコンに保存します。

1 OLYMPUS Masterメインメニューで「画像を取り込む」ボタン をクリックします。

- 取り込み元選択メニューが表示されます。

2 「カメラから」ボタン をクリックします。

- 取り込み元ウィンドウが表示されます。カメラ内のすべての画像が一覧表示されます。

3 画像ファイルを選択し、「取り込み」ボタンをクリックします。

- 取り込み完了のメッセージが表示されます。

4 「今すぐ画像を見る」ボタンをクリックします。

- ブラウズウィンドウに取り込んだ画像が表示されます。
- ブラウズウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

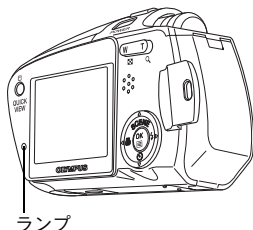
ご注意

- 画像の取り込み中はカメラの本体のランプが点滅します。点滅している間は絶対に以下のことをしないでください。
  - カードカバーを開ける
  - 電池を取り外す
  - ACアダプタを抜き差しする

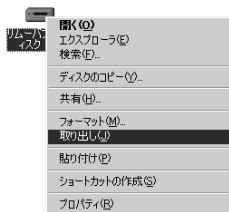
●カメラを取り外すには

カメラの画像をパソコンに取り込んだら、カメラを取り外すことができます。

1 カメラの本体のランプが緑色に点灯していることを確認します。

ランプ

2 USBケーブルを抜く準備をします。

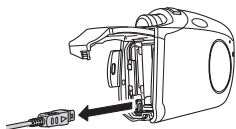
Windows 98SEの場合

1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして、「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし、メニューを表示させます。
2 メニューの「取り出し」をクリックします。

Windows Me/2000/XPの場合

1 システムトレイに表示されている「ハードウェアの取り外し」アイコン をクリックします。
2 表示されたメッセージをクリックします。
3 「デバイスは安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

Macintoshの場合

1 デスクトップの「名称未設定」（または「NO_NAME」）アイコンをドラッグすると「ゴミ箱」アイコンが「取り出し」アイコンに変わりますので、そのまま「取り出し」アイコンの上にドロップしてください。

3 カメラからUSBケーブルを抜きます。

ご注意

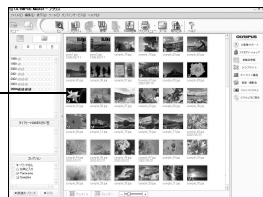
- Windows Me/2000/XPの場合：「ハードウェアの取り外し」をクリックした際、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないこと、またカメラの画像ファイルを開いていたアプリケーションが起動していないことを確認してください。確認後、「ハードウェアの取り外し」の操作を再度行い、その後ケーブルを外してください。

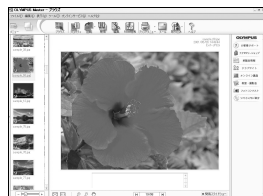
静止画／ムービーを見る

1 OLYMPUS Masterメインメニューで「画像を見る」ボタンをクリックします。

- ブラウズウィンドウが表示されます。

2 見たい静止画のサムネイルをダブルクリックします。

サムネイル

- ビューモードに切り換わり、画像が拡大されます。
- ブラウズウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

9 パソコン接続

●ムービーを見るには

1 ブラウズウィンドウで見たいムービーのサムネイルをダブルクリックします。

- ビューモードに切り換わり、ムービーの1コマ目が表示されます。

2 ムービー表示部下側の再生ボタンをクリックするとムービーが再生されます。

コントローラ各部の名称とはたらきは以下のとおりです。

00:00:00

1 2 3 4 5 6 7 8

	項目	詳細
1	再生スライダー	スライダーを移動して、任意のフレームを指定できます。
2	時間表示	再生中の経過時間が表示されます。
3	再生(一時停止)ボタン	ムービーを再生します。再生中は一時停止ボタンになります。
4	1フレーム戻るボタン	1つ前のフレームを表示します。
5	1フレーム進むボタン	次のフレームを表示します。
6	停止ボタン	再生を停止し、先頭のフレームに戻ります。
7	繰り返しボタン	ムービーが繰り返し再生されます。
8	ボリュームボタン	ボリューム調整スライダーが表示されます。

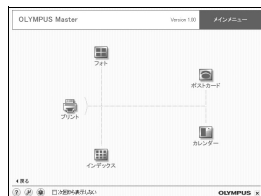
プリントする

フォト、インデックス、ポストカード、カレンダーなどのプリントメニューがあります。ここではフォトプリントを例に説明します。

1 OLYMPUS Masterメインメニューで「プリント」ボタンをクリックします。

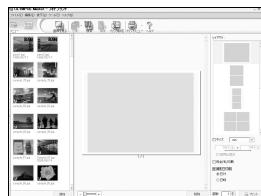
- プリントメニューが表示されます。

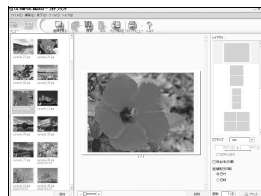
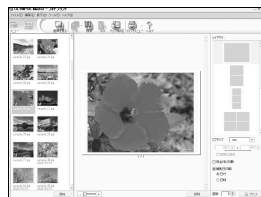
2 「フォト」ボタン をクリックします。

- フォトプリントウィンドウが表示されます。

3 フォトプリントウィンドウの「プリンタ設定」ボタンをクリックします。

- プリンタ設定画面が表示されますので、必要に応じてプリンタの設定を行います。

4 プリントするレイアウトやサイズなどを選択します。

- 日付または日時を入れてプリントしたいときは、「撮影日印刷」にチェックをつけて「日付」または「日時」を選択します。

5 プリントしたい画像のサムネイルを選択し、「追加」ボタンをクリックします。

- 選択した画像がレイアウト上にプレビュー表示されます。

6 プリントする部数を設定します。

7 「プリント」ボタンをクリックします。

- プリントが開始されます。
- フォトプリントウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

OLYMPUS Masterを使用せずにパソコンに画像を取り込んで保存する

このカメラはUSBストレージクラスに対応しています。OLYMPUS Masterを使用せずに付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、画像を取り込んで保存することもできます。接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。

Windows：Windows 98SE/Me/2000 Professional/XP

Macintosh：Mac OS 9.0-9.2/X

ご注意

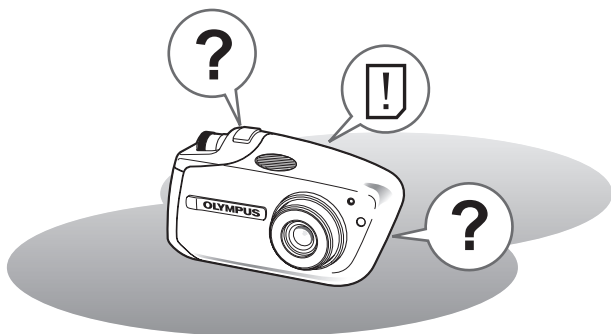
- Windows 98SEをお使いの場合は、USBドライバのインストールが必要です。カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する前に、付属のOLYMPUS Master CD-ROMの、以下のフォルダのファイルをダブルクリックしてください。
  （お使いのパソコンのドライブ名）：¥USB¥INSTALL.EXE
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
  - Windows 95/98/NT 4.0
  - Windows 95/98からアップグレードしたWindows 98SE
  - Mac OS 8.6以前（ただし、工場出荷時にUSB端子、USB MASS Storage Support 1.3.5を装備したMac OS 8.6は動作確認がされています。）
  - 拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン
  - 工場出荷時にOSがインストールされていないパソコンおよび自作パソコン

付録

10

オリンパスからのお知らせです。

- カメラを操作中エラーメッセージが表示されたとき
- パワースイッチを押しても電源が入らず途方にくれたとき
- 大事なカメラの保管方法が知りたいとき
- 取扱説明書で使われている用語の意味を知りたいときなどなど。そんなときぜひご一読ください。

困ったときは

エラーコード

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
カードを認識できません	カードが入っていません。またはカードが奥までしっかりと入っていません。	カードを入れてください。またはカードを正しく入れ直してください。それでもこの表示が消えないときはカードをフォーマットしてください。フォーマットできない場合、このカードはご使用になれません。
このカードは使用できません	カードに問題があります。	このカードは使用できません。新しいカードを入れてください。
書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。	パソコンを使って読み取り専用の設定がされています。再度パソコンを使って設定を解除してください。
撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
カード残量がありません	カードに空き容量がなく、ムービー撮影やプリント予約、静止画の編集など新たな記録をすることができません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
電池残量がありません	電池残量がありません。	電池を充電してください。
画像が記録されていません	カードに記録画像がないため画像が再生できません。	カードに画像が記録されていません。撮影してから再生してください。
この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
カードカバーが開いています	電池／コネクタカバーが開いています。	電池／コネクタカバーを閉めてください。
日時を設定してください	はじめてカメラを使用するときや長時間電池を抜いていたときには、日時が初期設定に戻っています。	日時を設定してください。
カードセットアップ 電源オフ フォーマット 選択 決定 OK	カードがこのカメラで使用できません。またはカードがフォーマットされていません。	別のカードに交換するか、カードをフォーマットしてください。 ・[電源オフ]を選択し、OKを押して新しいカードを入れてください。 ・[フォーマット]を選択し、OKを押してフォーマットを実行します。フォーマットすると、カード内のデータはすべて消去されます。

トラブルシューティング

●準備操作

原因	こうしましょう	参照ページ
カメラが動かない／ボタンを押しても動作しない		
電源が切れている	パワースイッチを押して、電源を入れてください。	—
電池残量が少なくなった	電池を充電してください。	—
寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットに入れるなどして温めてからご使用ください。	—
カメラがスリープモード（待機状態）になっている	シャッターボタンやズームボタンを操作してください。	—
パソコンに接続している	パソコンと接続中、カメラは動作しません。	—

●撮影

原因	こうしましょう	参照ページ
シャッターボタンを押しても撮影ができない		
電池残量が少なくなった	電池を充電してください。	—
再生モードになっている	モードダイヤルを▶以外にしてください。	P.10
フラッシュの充電が完了していない	一度シャッターボタンから指をはなし、⚡（フラッシュ充電）マークの点滅が終わってから撮影してください。	P.36
カードの容量がいっぱいになった	不要な画像を消すか、新しいカードを入れてください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。	P.82
撮影中やカードの書き込み中に電池がなくなった（液晶モニタが消灯した。または電池残量マークのみが点滅している。）	電池を充電してください。（カメラ本体のランプが点滅中は、消灯するまでお待ちください。）	—
液晶モニタのメモリゲージがすべて点灯している	メモリゲージの一番上が消灯するまで、お待ちください。	—
カードに問題がある	「エラーコード」でご確認ください。	P.130

原因	こうしましょう	参照ページ
液晶モニタが見にくい		
カメラ内が結露*している	電源を切ってしばらくおき、カメラ全体が環境温度になじんで乾燥するのを待ってからお使いください。	–
液晶モニタの明るさの設定が適切でない	［モードメニュー］の［モニタ調整］で液晶モニタの明るさを調整してください。	P.94
太陽光の下である	太陽の光を手などでさえぎってください。	–
撮影時に液晶モニタの画面に縦スジが入る	晴天下のような明るい被写体にカメラを向けると、画面に縦スジが入ることがあります。故障ではありません。	–
画像ファイルに記録される日付が正しくない		
日時が設定されていない	日時を設定してください。お買い上げ時には日時の設定はされていません。	P.95
電池を抜いて放置していた	電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時設定が解除されます。もう一度、日時を設定してください。	P.95
設定した機能が電源を切ると元に戻ってしまう		
［設定保持］が［しない］に設定されている	［モードメニュー］の［設定保持］を［する］に設定してください。	P.86
ピントが合わない		
被写体との距離が近すぎる	被写体との距離をはなして撮影してください。ズームがもっとも広角のときに20cmよりも近づいて撮影するときは、スーパーマクロモードに設定してください。	P.34
AFが苦手な被写体である	フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。	P.21
カメラ内が結露*した	電源を切ってしばらくおき、カメラ全体が環境温度になじんで乾燥するのを待ってからお使いください。	–
ピント合わせのとき画面の色が乱れる		
シャッターボタンを半押ししたとき、液晶モニタに表示されている画面の色が乱れることがある	故障ではありません。ピントが合うと正しい色で表示されます。	–
液晶モニタが消灯した		
カメラがスリープモード（待機状態）になっている	シャッターボタンやズームボタンを操作してください。	–

原因	こうしましょう	参照ページ
フラッシュが発光しない		
フラッシュが［発光禁止］に設定されている。	フラッシュの設定を［発光禁止］以外に設定してください。	P.36
明るい被写体である	フラッシュを強制的に発光させたい場合は、フラッシュを［強制発光］に設定してください。	P.36
ムービー撮影をしている	ムービーモードではフラッシュはご使用になれません。🎥以外の撮影モードにしてください。	P.48
スーパーマクロ撮影をしている	スーパーマクロ撮影ではフラッシュはご使用になれません。マクロを［マクロオフ］または［🌷マクロ］に設定してください。	P.34
パノラマ撮影をしている	パノラマではフラッシュはご使用になれません。パノラマ撮影を解除してください。	P.52
電池の消耗が早い		
寒い中で使用している	低温下では電池の性能が低下します。カメラを防寒具や衣類の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。	–
電池残量が正しく表示されていない	カメラの消費電力が大きく変化する際、電池残量の警告表示なしで電源が切れる場合があります。電池を充電してください。	–

* 結露： 外気が寒いときに空気中にある水蒸気が急速に冷やされて水滴になること。
カメラが冷えた状態で急に暖かい部屋などに入れた場合に発生します。

●画像の再生

原因	こうしましょう	参照ページ
撮影した画像のピントが合っていない		
AFが苦手な被写体を撮影した	フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。	P.21
シャッターボタンを押すときにカメラが動いてしまった（手ぶれ）	カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押して撮影してください。	P.20
フラッシュが必要な暗い状況でフラッシュが［発光禁止］になっていた	フラッシュを［オート発光］にして撮影してください。	P.36
レンズが汚れていた	レンズの汚れを拭きとってください。レンズブロワー（市販）でレンズのほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパー（市販）でやさしく拭いてください。レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。	P.139
撮影した画像が明るすぎる		
フラッシュの設定が［強制発光］になっていた	［強制発光］以外のフラッシュモードに設定してください。	P.36
中央部に暗いものがある	中央部に暗いものがあると周辺部が明るく写ります。露出補正をアンダー（－）側に設定してください。	P.43
ISO感度が高感度設定になっている	［ISO感度］を［オート］または［64］などの低感度に設定してください。	P.42

原因	こうしましょう	参照ページ
撮影した画像が暗い		
フラッシュを指で覆ってしまった	カメラを正しく構え、フラッシュを覆わないように気をつけてください。	P.20
撮りたいものがフラッシュ撮影範囲より遠かった	フラッシュ撮影範囲内で撮影してください。	P.36
フラッシュが［発光禁止］になっていた。	フラッシュを［発光禁止］以外に設定してください。	–
逆光状態で小さい被写体を撮影した	フラッシュを［強制発光］に設定するか、測光を［スポット］に設定して撮影してください。	P.36、41
連写モードで撮影した	連写中はシャッター速度の最長時間が短くなるので、暗い場所では通常よりも暗く写るおそれがあります。［モードメニュー］の［ドライブ］を［単写］に設定してください。	P.50
中央部に明るいものがある	中央部に明るいものがあると全体が暗く写ります。露出補正をオーバー（+）側に設定してください。	P.43
室内で撮影した画像の色がおかしい		
照明の色が影響した	照明に合わせてホワイトバランスを設定してください。	P.44
撮影する構図の中に白の基準になるものがなかった	白いものを入れて撮影するか、フラッシュを［強制発光］に設定して撮影してください。	P.36
ホワイトバランスの設定を間違えた	照明に合わせて、もう一度ホワイトバランスを設定し直してください。	P.44
画像の一部が暗い		
レンズに指やストラップがかかってしまった	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップがかからないように気をつけてください。	P.20

原因	こうしましょう	参照ページ
液晶モニタ上で再生できない		
電源が入っていない	モードダイヤルを▶に合わせてから、パワースイッチを押して、電源を入れてください。	P.10
撮影モードになっている	**QUICK VIEW**ボタンを押すか、モードダイヤルを▶にしてください。	P.10、13
カードに画像が記録されていない	液晶モニタに［画像が記録されていません］と表示されます。撮影してから再生してください。	–
カードに問題がある	「エラーコード」でご確認ください。	P.130
テレビに接続している	AVケーブルを接続しているときは液晶モニタは点灯しません。	P.78
1コマ消去・全コマ消去ができない		
画像がプロテクトされている	О┳マークの付いた画像を表示して、［モードメニュー］の［プロテクト］を［オフ］に設定して、プロテクトを解除してください。	P.82
カメラとテレビを接続してもテレビに映像がでない		
カメラの映像出力信号が間違っている	使用する地域の映像信号にビデオ出力の設定を合わせてください。	P.79
テレビの映像信号の設定が間違っている	テレビをビデオ（映像）入力モードにしてください。	P.78
液晶モニタが見にくい		
液晶モニタの明るさの設定が適切でない	［モードメニュー］の［モニタ調整］で液晶モニタの明るさを調整してください。	P.94
太陽光の下である	太陽の光を手などでさえぎってください。	–

●パソコンやプリンタとの接続

原因	こうしましょう	参照ページ
プリンタと接続できない		
USB ケーブルでプリンタに接続したあと、液晶モニタで［PC］を選択した	USB ケーブルを抜いて最初の手順からやり直してください。	P.99
プリンタが PictBridge に対応していない	ご使用のプリンタの取扱説明書をご確認ください。または、プリンタメーカーにお尋ねください。	–
パソコンでカメラが認識されない		
USB ドライバがインストールできていない	OLYMPUS Master をインストールしてください。	–

アフターサービス

●保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

●本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

●保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。

●当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにお問い合わせください。

●海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載の Ⓦ マークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。

●本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

●修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

お手入れ

●カメラのお手入れ

カメラの外側

- 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ります。

液晶モニタ

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ

- レンズブロワー（市販）でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

カード／電池／充電器

- 乾いた柔らかい布で拭きます。

ご注意

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。

●カメラの保管

- カメラを長期間使用しないときは、電池やACアダプタ、カードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

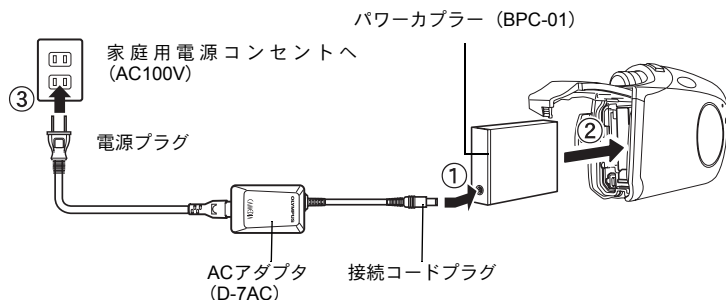
ご注意

- 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

ACアダプタ（別売）

パソコンに画像をダウンロードするなど、時間がかかる作業を行なう場合には、ACアダプタのご使用をおすすめします。
このカメラでは付属の専用リチウムイオン電池の他、専用の ACアダプタ（D-7AC）を使用することができます。このカメラでACアダプタを使うには、パワーカプラー（BPC-01／別売）が必要です。パソコンに画像を取り込むときなど、時間がかかる作業を行う場合には、ACアダプタの使用をおすすめします。専用のACアダプタ以外はご使用にならないでください。

①～③の順番で差し込みます。

パワーカプラー（BPC-01）
家庭用電源コンセントへ（AC100V）
③
電源プラグ
①
②
ACアダプタ（D-7AC）
接続コードプラグ

ご注意

- 取り外すときは、逆の順番で行ってください。
- 電池を使用してカメラをパソコンやプリンタに長時間接続しているとき、途中で電池残量がなくなると画像データにトラブルが生じることがあります。ACアダプタのご使用をおすすめします。なお、接続中には、ACアダプタを抜き差ししないでください。
- カメラの電源が入っているときに電池やACアダプタを抜き差ししないでください。カメラに設定されている設定値や機能にトラブルが生じる場合があります。
- パワーカプラーにACアダプタの接続コードプラグを差し込んだ状態で、カードの抜き差しはできません。カードの抜き差しは、カメラからパワーカプラーを取り外した状態で行ってください。
- ACアダプタはAC100～240V（50/60Hz）の電圧範囲でご使用になれます。海外でご使用の際は、変換プラグアダプタが必要になる場合があります。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。
- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバータ）は、ACアダプタが故障することがありますので使用しないでください。
- ACアダプタ使用時は、カメラの生活防水は機能しません。
- ACアダプタの取扱説明書を必ずお読みください。

使用上のご注意

使用条件について

● 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所

● カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。

● レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。

● 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。

● カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。

● カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

● 三脚に取り付ける際は、カメラを回さず、三脚のネジを回してください。

● 本体の電気接点部には手を触れないでください。

● レンズに無理な力を加えないでください。

電池について

● 当社製リチウムイオン電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

● 電池の（＋）（－）端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。

● 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。

● 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
● 撮影条件、使用環境および電池により、撮影枚数が減少することがあります。
● 長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。
● 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、（+）（–）端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは社団法人電池工業会のホームページ（http://www.baj.or.jp/recycle/）をご覧ください。

Li-ion

カードについて

● カードは精密電子機器です。曲げたり、衝撃を与えないでください。また静電気には十分ご注意ください。カードに保存しているデータは、不揮発性の半導体メモリ内に保存されますが、間違った扱いをするとデータが破壊されます。
● カードを水に濡らしたり、ほこりの多い場所に放置しないでください。
● 高温多湿の場所でのご使用・保管は避けてください。
● 発熱物・発火物の近くでのご使用は避けてください。
● カードの金属部分に指紋や汚れが付着すると、データの読み書きが正常に行われないことがあります。その場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
● **カードには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。その場合は、新しいものとお取り換えください。**
● **他の媒体に保存したデータの損害、またカード内のデータ消滅に関し、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。**

液晶モニタについて

本製品は背面の表示に、液晶モニタを使用しています。

● カメラを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。
● 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
● 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
● 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
● 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
● **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

用語解説

画像サイズ
画像を構成する点（ピクセル）の数で表した画像の大きさのこと。例えば、640 × 480で撮影した画像は、パソコンのモニタの設定が640 × 480のときではモニタ全体に表示されますが、1024 × 768ではモニタの一部分にだけ表示されます。

画素数
画像を形成する最小単位の点。画素数が多いほど、サイズの大きな画像を作るのに適しています。

銀塩写真
ハロゲン化銀を使った、従来からあるフィルムを用いた写真のことをいいます。

スリープモード（待機状態）
電池を節約するためのモード。電源を入れたままカメラを一定時間放置すると、電池を節約するためにカメラは動作を停止します。シャッターボタンや十字ボタンなどの操作をすると、すぐにカメラは動作します。

露出
画像が写るために得る光の量。シャッター速度と絞りでレンズを通して入ってくる光の量を調節して、露出を決めます。

●アルファベット順

CCD（charge coupled device）
レンズを通して入ってきた光りを受けて、電気信号に変換する素子。CCDで受けた光をRGBの信号に変換して、一つの画像を作り出します。

DCF（design rule for camera file system）
電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された、画像ファイルに関する規格。

DPOF（digital print order format）
デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマット。画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF対応の写真店やプリンタでプリントアウトを簡単に行うことができます。

ESP測光（electro selective pattern）／デジタルESP測光
CCD出力を分割測光によって、周辺と中心部を個別に測光し、演算して露出を決める測光方法。

ISO
国際標準化機構（ISO）の規格で決められた、フィルム感度の表示法。通常「ISO100」のように表記します。数値が大きくなるほど、光に対する感度が強くなり、少ない光でも感光します。

JPEG（joint photographic experts group）
静止画の圧縮方式。このカメラで撮影した写真（画像）は、JPEG形式でカードに記録されます。パソコンに読み込めば、グラフィックス用のアプリケーションソフトで加工したり、インターネット閲覧ソフト（ブラウザ）で見ることができます。

NTSC/PAL（National Television Systems Committee/Phase Alternating Line）
テレビの放送方式。NTSCは主に日本、北米、韓国で使用され、PALは主にヨーロッパ諸国や中国で使用されています。

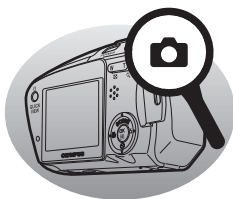
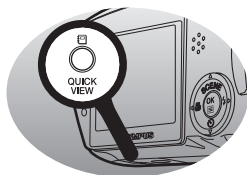
PictBridge
異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

TFT（thin-film transistor）液晶
薄膜で作られたトランジスタを利用したカラー液晶モニタ。

資料

11

1章から9章で説明したカメラのすべての機能を網羅的に紹介しています。
カメラのボタンや部位の名前、液晶モニタに表示されるアイコンの名前と意味、トップメニュー・モードメニューの一覧など、必要に応じてご覧ください。
索引もありますので、目次からは見つからない機能や項目が記載されているページを探すときにお使いください。また、「各部の名前」や「メニュー一覧」も索引の役目をはたしますので、有効にご活用ください。

QUICK VIEW

メニュー一覧

● 撮影メニュー（📷）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	撮　影	測光	ESP ／スポット	P.41
		ドライブ	単写／連写	P.50
		ISO 感度	オート／ 64 ／ 100 ／ 200 ／ 400	P.42
		デジタルズーム	オフ／オン	P.33
		AF 方式	iESP ／スポット	P.40
		スチル録音	オフ／オン	P.55
		パノラマ		P.52
		合成ツーショット		P.54
		ヒストグラム表示	オフ／オン	P.45
	カード	フォーマット	フォーマット／中止	P.84
	設　定	設定保持	する／しない	P.86
			日本語／ ENGLISH	P.87
		PW ON 設定	画面：オフ／ 1 ／ 2 ／ 3	P.88
			音量：オフ／小／大	
		画面配色設定	標準 ／ソフィア／ナチュラル／フューチャー	P.90
		ビープ音	オフ／小／大	P.90
		シャッタ音	オフ／ 1 ／ 2 ／ 3	P.91
			小／大	
		レックビュー	オフ／オン	P.91
		ファイル名メモリー	リセット／オート	P.92
		ピクセルマッピング		P.93
		モニタ調整		P.94
		日時設定		P.95
		ビデオ出力	NTSC ／ PAL	P.79
露出補正			–2.0 ～ 0.0 ～ +2.0	P.43
画質モード			SHQ ／ HQ ／ SQ1 ／ SQ2	P.23
ホワイトバランス			オート／晴天／曇天／電球／蛍光灯 1 ／蛍光灯 2 ／蛍光灯 3	P.44

● 撮影メニュー（）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	撮　影	測光	ESP ／スポット	P.41
		ISO 感度	オート／ 64 ／ 100 ／ 200 ／ 400	P.42
		デジタルズーム	オフ／オン	P.33
	カード	フォーマット	フォーマット／中止	P.84
	設　定	設定保持	する／しない	P.86
			日本語／ ENGLISH	P.87
		PW ON 設定	画面：オフ／ 1 ／ 2 ／ 3	P.88
			音量：オフ／小／大	
		画面配色設定	標準 ／ソフィア／ナチュラル／フューチャー	P.90
		ビープ音	オフ／小／大	P.90
		ファイル名メモリー	リセット／オート	P.92
		ピクセルマッピング		P.93
		モニタ調整		P.94
		日時設定		P.95
		ビデオ出力	NTSC ／ PAL	P.79
露出補正			–2.0 ～ 0.0 ～ +2.0	P.43
画質モード			HQ ／ SQ	P.24
ホワイトバランス			オート／晴天／曇天／電球／蛍光灯 1 ／蛍光灯 2 ／蛍光灯 3	P.44

● 再生メニュー（▶）静止画のとき

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	再　生	プロテクト	オフ／オン	P.82
		回転表示	+90° ／ 0° ／ –90°	P.61
		プリント予約	1 コマ予約／全コマ予約	P.107
		録音		P.76
		情報表示	オフ／オン	P.80
		ヒストグラム表示	オフ／オン	P.81
	編　集	ソフトフォーカス作成	新規作成／中止	P.72
		フィッシュアイ作成	新規作成／中止	P.72
		モノクロ作成	新規作成／中止	P.73
		セピア作成	新規作成／中止	P.73
		リサイズ	640 × 480 ／ 320 × 240 ／中止	P.74
		トリミング	新規作成／中止	P.74
	カード	全コマ消去	消去／中止	P.83
		フォーマット	フォーマット／中止	P.84
	設　定	設定保持	する／しない	P.86
		(言語アイコン)	日本語／ ENGLISH	P.87
		PW ON 設定	画面：オフ／ 1 ／ 2 ／ 3	P.88
			音量：オフ／小／大	
		画面登録	決定／中止	P.89
		画面配色設定	標準 ／ソフィア／ナチュラル／フューチャー	P.90
		再生音量	オフ／小／大	P.90
		ビープ音	オフ／小／大	P.90
		モニタ調整		P.94
		日時設定		P.95
		ビデオ出力	NTSC ／ PAL	P.79
		インデックス表示	4 ／ 9 ／ 16 ／ 25	P.59
スライドショー			標準／フェード／スライド／ズーム	P.60
アルバム登録			選択登録／カレンダー登録／一括登録／中止	P.64
1コマ消去			消去／中止	P.83

● 再生メニュー（▶）ムービーのとき

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	再　生	プロテクト	オフ／オン	P.82
		情報表示	オフ／オン	P.80
	編　集	インデックス作成	新規作成／中止	P.77
	カード	全コマ消去	消去／中止	P.83
		フォーマット	フォーマット／中止	P.84
	設　定	設定保持	する／しない	P.86
		(言語アイコン)	日本語／ ENGLISH	P.87
		PW ON 設定	画面：オフ／ 1 ／ 2 ／ 3 音量：オフ／小／大	P.88
		画面配色設定	標準 ／ソフィア／ ナチュラル／フューチャー	P.90
		再生音量	オフ／小／大	P.90
		ビープ音	オフ／小／大	P.90
		モニタ調整		P.94
		日時設定		P.95
		ビデオ出力	NTSC ／ PAL	P.79
		インデックス表示	4 ／ 9 ／ 16 ／ 25	P.59
ムービー再生				P.62
アルバム登録			選択登録／カレンダー登録／一括登録／中止	P.64
1コマ消去			消去／中止	P.83

● 再生メニュー（▶）アルバム再生モードのとき

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
アルバムメニュー		アルバム選択	1 ～ 12	P.66
		プロテクト	オフ／オン	P.82
		回転表示※1	+90°／0°／–90°	P.61
		タイトル画像選択	決定／中止	P.70
		プリント予約※1	1 コマ予約／全コマ予約	P.107
		再生音量	オフ／小／大	P.90
		モニタ調整		P.94
		ビデオ出力	NTSC ／ PAL	P.79
スライドショー※1 ／ムービー再生※2				P.60、62
解除			選択解除／全コマ解除／中止	P.67
消去			選択消去／全コマ消去／中止	P.69

※1：ムービーのときは表示されません。

※2：静止画のときは表示されません。

資料

11

初期設定一覧

各機能は工場出荷時には下記のように設定されています。

● 撮影モード

ズーム	ワイド
撮影シーン	Pオート
マクロ／スーパーマクロ	マクロオフ
セルフタイマー	セルフタイマー オフ
フラッシュ	📷：オート発光 🎥：発光禁止
画質モード	HQ
露出補正	0.0
ホワイトバランス	オート
測光	ESP
ドライブ	単写
ISO感度	オート
デジタルズーム	オフ
AF方式	スポット
スチル録音	オフ
ヒストグラム表示	オフ
シャッタ音	1ー小
レックビュー	オン
ファイル名メモリー	リセット

● 再生モード

プロテクト	オフ
回転表示	0°
プリント予約	オフ
情報表示	オフ
ヒストグラム表示	オフ
再生音量	小
インデックス表示	9

● アルバム再生モード

プロテクト	オフ
回転表示	0°
プリント予約	1コマ予約

● その他

設定保持	しない
(言語アイコン)	日本語
PW ON設定	画面：オフ　音量：オフ
画面配色設定	標準
モニタ調整	標準
日時設定	年月日 2005.01.01 00:00
ビデオ出力	NTSC
ビープ音	小

撮影シーン別設定可能な機能

撮影シーンによっては、設定できない項目があります。詳しくは、以下の表をご覧ください。

<table>
<tr><th>撮影シーン
機能</th><th>P</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>マクロ</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>スーパーマクロ</td><td colspan="2">○</td><td colspan="4">−</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>フラッシュ</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>クイックビュー</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>光学ズーム</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>画質モード</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>露出補正</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランス</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>測光</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ドライブ</td><td colspan="4">○</td><td colspan="2">−</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>ISO感度</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>デジタルズーム</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>AF方式</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>スチル録音</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>パノラマ</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>合成ツーショット</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ヒストグラム表示</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>フォーマット</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>設定保持</td><td>○</td><td colspan="7">−</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>PW ON設定</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>画面配色設定</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ビープ音</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>シャッタ音</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>レックビュー</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ファイル名メモリー</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ピクセルマッピング</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>モニタ調整</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>日時設定</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ビデオ出力</td><td colspan="8">○</td></tr>
</table>

○：設定可能　　−：設定不可

<table>
<tr><th>撮影シーン
機能</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>マクロ</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>スーパーマクロ</td><td>–</td><td>○</td><td>–</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">–</td><td>○</td></tr>
<tr><td>フラッシュ</td><td>○</td><td>–</td><td colspan="2">○</td><td colspan="4">–</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>クイックビュー</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>光学ズーム</td><td colspan="8">○※1</td></tr>
<tr><td>画質モード</td><td colspan="8">○※2</td></tr>
<tr><td>露出補正</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランス</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>測光</td><td colspan="8">○※3</td></tr>
<tr><td>ドライブ</td><td colspan="4">○</td><td colspan="4">–</td></tr>
<tr><td>ISO感度</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>デジタルズーム</td><td colspan="2">○</td><td>–</td><td colspan="5">○</td></tr>
<tr><td>AF方式</td><td colspan="7">○※4</td><td>–</td></tr>
<tr><td>スチル録音</td><td colspan="7">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>パノラマ</td><td colspan="2">○</td><td>–</td><td colspan="4">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>合成ツーショット</td><td colspan="7">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>ヒストグラム表示</td><td colspan="7">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>フォーマット</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>設定保持</td><td colspan="7">–</td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>PW ON設定</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>画面配色設定</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ビープ音</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>シャッタ音</td><td colspan="7">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>レックビュー</td><td colspan="7">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>ファイル名メモリー</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ピクセルマッピング</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>モニタ調整</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>日時設定</td><td colspan="8">○</td></tr>
<tr><td>ビデオ出力</td><td colspan="8">○</td></tr>
</table>

○：設定可能　　–：設定不可

※1： のときは広角（W側）固定になります。 のときは撮影待機時のみ設定できます。
※2： 、 のときはSQ2の［1280 × 960」［1024 × 768］［640 × 480］のみ設定できます。
※3： のときは［ESP］のみ設定できます。
※4： 、 のときは［iESP］のみ設定できます。

各部の名前

カメラ

モードダイヤル
☞P.10
シャッターボタン
☞P.21
フラッシュ ☞P.36
録音マイク
☞P.55, 76
セルフタイマーランプ ☞P.51
レンズ
カードカバー
電池ロックノブ
マルチコネクタ ☞P.78, 99, 120

QUICK VIEW ボタン
☞ P.11

アルバム再生ボタン（▣）
☞ P.63

パワースイッチ（POWER）

ズームボタン
☞ P.32, 58

スピーカ

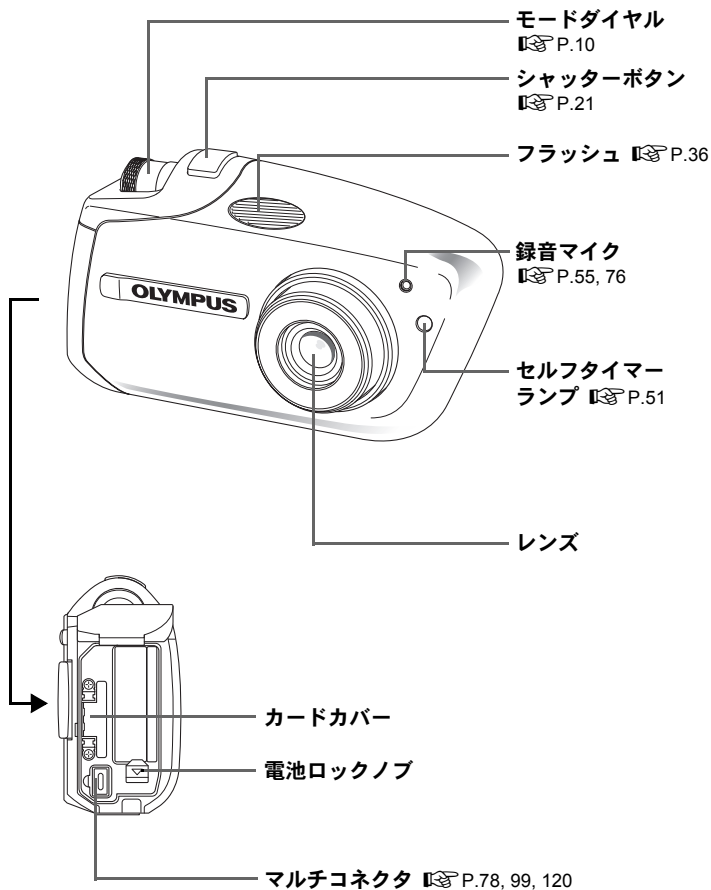
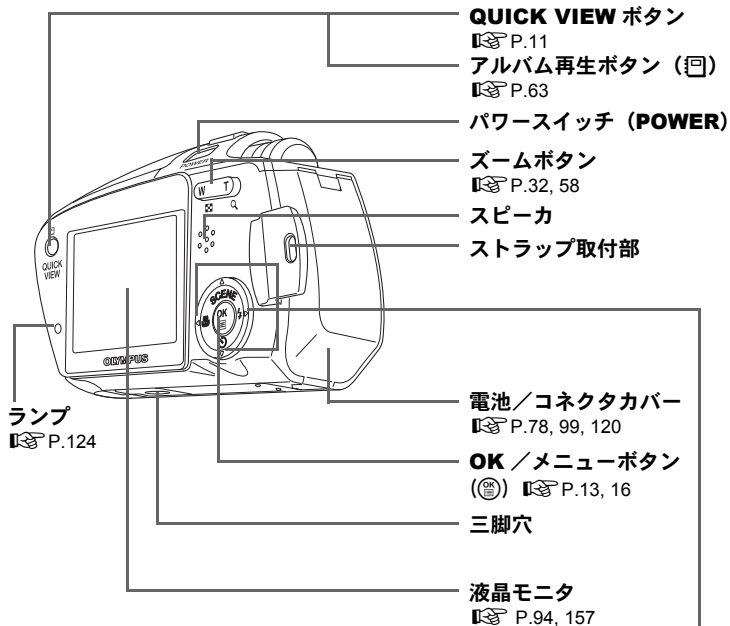
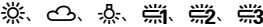
ストラップ取付部

ランプ
☞ P.124

電池／コネクタカバー
☞ P.78, 99, 120

OK ／メニューボタン
（OK） ☞ P.13, 16

三脚穴

液晶モニタ
☞ P.94, 157

十字ボタン

十字ボタンにはマクロ撮影やフラッシュの設定など、それぞれ機能があります。その他に方向キーとしても使用します。☞「ダイレクトボタン」（P.11）

液晶モニタの表示

画面に表示される情報量を［情報表示］機能の［オン］／［オフ］から選択できます。下の画面は［情報表示］の機能を［オン］にしたときの画面です。☞「情報表示」（P.80）

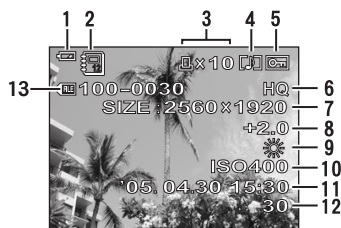
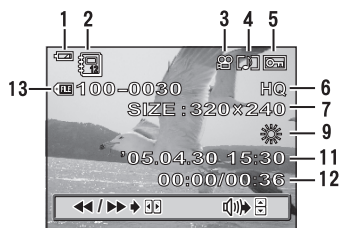
●撮影モード

静止画　　　　　　　　　　ムービー

	項目	表示例	参照頁
1	撮影シーン／撮影モード	P、	P.28 P.10
2	露出補正	–2.0～+2.0	P.43
3	電池残量		–
4	緑ランプ	○	P.21
5	フラッシュ発光予告 手ぶれ警告・ フラッシュ充電	点灯 点滅	P.37
6	マクロ スーパーマクロ		P.34
7	フラッシュモード		P.36
8	ドライブ		P.50
9	セルフタイマー		P.51
10	録音		P.55
11	画質	SHQ、HQ、SQ1、SQ2、SQ	P.23

	項目	表示例	参照頁
12	画像サイズ	2560 × 1920、2048 × 1536、1280 × 960など	P.24
13	AFターゲットマーク	[ ]	P.21
14	撮影可能枚数 撮影可能時間	30 00:36	P.24 P.24、48
15	スポット測光		P.41
16	ISO感度	ISO64、ISO100、ISO200、ISO400	P.42
17	ホワイトバランス	、、、1、2、3	P.44
18	メモリゲージ	、、、	–

●再生モード

静止画

ムービー

	項目	表示例	参照頁
1	電池残量	、	–
2	アルバム		P.70
3	プリント予約・枚数 ムービー	×10	P.107 P.62
4	録音		P.55、76
5	プロテクト		P.82
6	画質	SHQ、HQ、SQ1、SQ2、SQ	P.23
7	画像サイズ	2560 × 1920、2048 × 1536、1280 × 960など	P.24
8	露出補正	–2.0～+2.0	P.43
9	ホワイトバランス	WB AUTO、、、、1、2、3	P.44
10	ISO感度	ISO64、ISO100、ISO200、ISO400	P.42
11	日時	'05. 04.30　15:30	P.95
12	コマ番号 再生時間／録画時間	30 00:00/00:36	P.107 P.62
13	ファイル番号	FILE 100 - 0030	P.92、107

ご注意

- ムービーの場合、画像を選択して表示したときと、ムービー再生中で表示内容が異なります。

索引

カメラ各部の参照先については、「各部の名前」をご覧ください。

英数／記号

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

索引

資料

11

ま行

や行

ら行

お問い合わせいただく前に（お願い）

●より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが以下の内容をあらかじめご確認ください。

●FAXまたは郵便でお問い合わせいただく場合は、必ずご記入ください。

●問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など：パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけくわしくお知らせください。

●お名前（フリガナ）

●連絡先：郵便番号

ご住所（自宅か会社のいずれかを明記願います）

電話番号/FAX

E-mail

●製品名（型番）：

●シリアル番号（製品底面に記載されています）：

●お買い上げ日：

＊以下は、カメラをパソコンと接続してご使用、またはソフトウェアをご使用の場合にお確かめください。

●ご使用のパソコンの種類：

パソコンメーカー・型番等

●メモリの容量　ハードディスクの空き容量：

●OS名とバージョン：

（Windows）コントロールパネル–システム–デバイスマネージャーの内容

（Mac OS）コントロールパネルや機能拡張の内容

●その他接続されている周辺機器名：

●問題のご使用アプリケーションソフト名とバージョン：

●問題のご使用弊社ソフト名とバージョン

OLYMPUS®

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

●ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報を当社のホームページで提供しております。
オリンパスホームページ（**http://www.olympus.co.jp/**）から「お客様サポート」→「映像・情報分野」→「デジタルカメラ／プリンタ」へ進み、ご利用ください。

●電話等でのご相談窓口

カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル

0120-084215

携帯電話・PHSからは0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間　平日　　　　9：30～21：00
土・日・祝日　10：00～18：00
（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

●修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先

TEL 0266-26-0330　　FAX 0266-26-2011

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮3-15-1
オリンパス岡谷修理センター
営業時間9:00～17:00
（日曜、夏期・年末年始休業、システムメンテナンス日を除く）

●国内サービスステーション（修理受付窓口）

東　京	〒101-0052	千代田区神田小川町1の3の1　小川町三井ビル（オリンパスプラザ内）	Tel.03（3292）3403
札　幌	〒060-0034	札幌市中央区北4条東1の2の3　札幌フコク生命ビル	Tel.011（231）2320
仙　台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央1の13の4　泉エクセルビル	Tel.022（218）8421
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦2の19の25　日本生命広小路ビル	Tel.052（201）9571
大　阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場2の12の26　オリンパス大阪センター	Tel.06（6252）6995
広　島	〒730-0013	広島市中区八丁堀16の11　日本生命広島第2ビル	Tel.082（228）3821
福　岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通3の6の11　福岡フコク生命ビル	Tel.092（761）4469

※ 土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

Printed in China　VH068101